

福知山市新文化ホール整備
基本構想・基本計画検討委員会
(第4回)

2022（令和4）年 10月24日（月）

もくじ

1. 前回委員会のまとめと質問事項の確認
2. 基礎調査の補填
 - (1) 市民ワークショップの報告（第1回・第2回）
 - (2) Webアンケートの報告
 - (3) 市民交流プラザの開館と活動状況の変化
3. 福知山市新文化ホール基本構想（案）

1. 前回委員会のまとめと質問事項の確認

主な意見・確認事項など

- 市民交流プラザを練習場所として利用している団体が多く、予約が難しいようである。
- 若い世代が文化活動をしている姿は市内ではなかなか見られない。練習場所として適した場が市内に少ないことが原因にあるのではないか。
- 市民交流プラザの開館が文化活動に与えた影響を把握し、新文化ホールの議論に繋げたい。
- 新文化ホールの基本的役割について、「知る・見る・感じる」とすると受け身のイメージを与えてしまうため、能動的な印象を受ける表現を追加してほしい。
- 「つなぐ」というキーワード、交流のハブになることが重要である。
- 建設地は未定であり、基本構想の中に「市有財産を活用する」という文言を記載するかについて、市が検討する必要がある。

主な意見・確認事項など

- 検討委員会においては、ホールの収容人数を現在の厚生会館と同じ1000席まで視野に入れて議論を行うべき。攻めの姿勢を見せたい。
- 厚生会館の開館当時と現在の状況を比較し、最適な規模を検討するべきである。
- 攻めの姿勢はホールの規模ではなく、事業で示したい。

2. 基礎調査の補填

(1) 市民ワークショップの報告 (第1回・第2回)

WS（中間報告）

■ 日程・内容

 : 基本構想に関する内容

	日程	参加人数	内容
第1回	8月29日（月）	18人	福知山市や現施設の良いところ・改善した方が良いところ
第2回	9月8日（木）	16人	年間利用計画をシミュレーションし、新施設の将来像を考えよう
第3回	9月29日（木）	18人	年間利用計画から必要な機能・規模を考えよう
第4回	11月14日（月）		使いやすい諸室の配置を考えよう
第5回	12月13日（火）		今後の市民参加について考えよう

WS（中間報告）

■第1回 福知山市や現施設の良いところ・改善した方が良いところ

福知山市や厚生会館の「じまん・ふまん」について意見をいただき、新文化ホールで「じまん」をどう生かすか、「ふまん」を改善する方法、新施設で何ができるかを考えていただきました。

種別①	種別②	福知山市のじまん	どう伸ばす？新施設にどう活かす？
人	市民活動	・分野ごとに力を入れて活動している人がいる	・合唱・合奏など文化発表は大いに活動活性化すべき
	若者	・公立大生がまちに根差している	・大学生、移住者のパワーを生かす ・若者高齢者の交流の場
	その他	・人が穏やか ・人に優しい	・地域のひとによる子どもへの支援
環境	自然	・市街と田舎がほどよくミックスされている	
	立地	・北近畿の都 ・京都府北部の中心地	
	交通	・京阪神へのアクセスが良い ・京阪に近い	・京阪神からのアクセスを生かしたイベントの關係に
	施設	・スポーツ施設の充実	・劇場、展示会場、会議室などが総合的に満足できる施設にできなければ他の施設を作る
	行政の 取り組み	・まちのPRを市が中心に行う	・ポスター、マップ作成 ・展示が何もない時間をなくす
		・スポーツに力を入れている	・スポーツの大会のように音楽の大会を行う
	食	・ご飯がおいしい ・スイーツの町	・福知山の味が楽しめる店(スイーツや肉)や飲食スペース
	歴史・伝統	・城がある、城が素敵、かっこいい	・ホールデザインを城のように
		・歴史が身近に感じられる ・福知山踊り	・歴史を伝える人が必要 ・継承する機会を作る
	その他	・住みやすい ・人が集まる場所が増えている	

WS（中間報告）

■第1回 福知山市や現施設の良いところ・改善した方が良いところ

種別①	種別②	厚生会館のじまん	どう伸ばす？新施設にどう活かす？
ハード面			
	ホール	・多目的スペース、固定客席で無い →アイデア次第で利用できる、使い方が様々	・ホールの充実 ・非日常空間としての施設の充実
		・唯一無二の大きなホール	・大は小を兼ねる
	設備	・ピアノ(スタンウェイ)が貴重	
	立地	・町中の良い場所 ・落ち着いたエリアにある	・人が常に集まれる場所
		・立地が良い ・駅に近い	・駅→城→駅のように市の施設をつなぐ環境 町ぐるみで回遊
		・旧市内から徒歩、自転車で行ける距離が良い	
ソフト面			
	様々な利用	・多目的ホールを活かした様々な利用がされてきた ・市民の使用頻度が高い大きいイベントはここというイメージ	・練習室、リハーサル室などを増やすと団体の活動場所も増える ・福知山に来ないと供給できないコンサート・イベントの創出 ・市民の発表も、プロの招待もできるよう地域の代表的施設にするべき
	運営面	・使用料金が安い	
	その他	・市民も使いやすい ・市民の使用頻度が高い	

WS（中間報告）

■第1回 福知山市や現施設の良いところ・改善した方が良いところ

種別①	種別②	福知山市のふまん	どう改善する？新施設で何ができる？
人			
	市民活動	・文化の担い手は市民！ ・市民の声を聞くべき	・市民の声を運営に反映する
	若者	・若者は市外へ出て行ってしまう	・しっかりしたホールを町のシンボルとして建て、若者の定住を図る
環境			
	自然	・水害多い	・避難所として利用できる ・水害にあわないホール
	施設	・若者の活動場所や楽しめるものが少ない、ない	・子どもから高齢者、障がいがある方までワクワク使えるホール
		・福知山にしかない文化施設がない	・福知山を感じられるホール
		・市の施設の連携感が少ない	
	行政の取り組み	・音楽文化に力を入れていない ・スポーツに対して文化振興が弱い	・文化に特化したホール ・建物だけを作るのではなく劇場文化の核を作る
	歴史	・歴史・文化から新たな文化の創造を	
	その他	・盆踊りや花火大会の時以外の活性化が少ない	・新文化ホールこそ年間行事発表の場にすべき

WS（中間報告）

■第1回 福知山市や現施設の良いところ・改善した方が良いところ

種別①	種別②	厚生会館のふまん	どう改善する？新施設で何ができる？
ハード面			
ハード面	ホール	・1階客席がフラットで舞台が見えにくい ・劇場として必要な機能がなくホールとは呼べない ・学生が使いにくい	・ワクワク感を抱かせる施設 ・ビジョンを決めてそれに沿った施設を建てる ・若者のことを考えた施設
	設備	・設備（音響、照明）の不足 ・搬入口、搬入トラックの停め場がない	・照明や音響の専門家の知見をしっかりと活かす ・搬入口の確保
	諸室	・楽屋が1階ではなく半地下にある	・リハーサル室、楽屋を舞台と同じフロアに設ける ・バリアフリー ・文化活動をしている団体や個人が気軽に集まる「溜り場」スペース ・発表の場だけでなく稽古場も増やしてほしい
	立地		・都市部の劇場ではないので車社会対応の場所を選定する
	駐車場	・駐車場、駐輪場がない	・周辺や有料駐車場と連携し駐車スペースを広くとる
ソフト面			
ソフト面	様々な利用	・大きいコンサートが開催できない ・選挙から音楽まで何でもの会館	・有名タレントがたくさん来れるホールを建て費用を賄う ・他市に負けない文化ホール ・市民が使うのか、アーティストを呼ぶためのホールか
	運営面	・専門的なスタッフがいらない ・夜に職員がいらない ・場所を貸しているだけ	・施設管理をプロに任せる ・専門職員が常にいる ・イベントを増やす
	その他	・簡単に使えるイメージがない	・近隣住民も入館しやすい施設

➡新文化ホールに対しては、「基本的な設備・機能の充実」「バリアフリー」などを備えたうえで、若い世代を中心に高齢者、障がいのある方も誰もが楽しめるホールであることを求める意見が多くあげられました。

また、福知山市には素晴らしい歴史や引き継いでいきたい伝統が多数あることから、こうした福知山らしさの活用、新たな文化の創造などのご意見もありました。

WS（中間報告）

■第2回 年間利用計画をシミュレーションし、新施設の将来像を考えよう

新文化ホールでやりたいこと、やってほしいことから、年間スケジュールを設定し、活動イメージから将来どんな施設にしていきたいか、どんな施設ならより多くの市民に活用されるかなど、様々な視点から施設の将来像をイメージしたコンセプトやキーワードを考えていただきました。

グループ		春	夏	秋	冬	通年・その他
お月様 	やりたいこと・やってほしいこと	スプリングコンサート	クラシックコンサート	オータムコンサート	クリスマスコンサート	劇団四季、ブロードウェイミュージカル等の本物を呼ぶ
		音楽コンサート	矢沢永吉、GReeeeN等の本物のコンサート	福知山マラソンの際に野外で大規模コンサート	高校ジャズバンド、プラスバンド合同発表会	市民オペラ、市民ミュージカル
		春の合唱祭	納涼合唱祭	みのりの合唱祭	市民合唱祭	子育て施設と合わさったもの
		合唱		小学生から大学生までの合唱	クリスマス合唱祭	コロナに配慮した施設
		4月のお城まつりに合わせ、ご当地キャラクターがたくさん登場するコンサート	ドッコイセまつりの際、会館におどり連が入ってくる	ダンス・バレエ・吹奏楽の合同発表会	お笑いライブ（年越しイベント等）	会館スタッフによる講習会
			ダンスコレクション（音、照明バンバンで）	ダンス	成人式・同窓会	一流の演奏家の練習拠点→練習の合間に小中学校で教える
			野外フェス			学校関係
			和太鼓発表イベント	詩舞と舞踊の合同発表会	伝統芸能	
		鑑賞・発表の場	音楽に触れる環境	基本的な機能を完備	舞台芸術と展示	多世代・多様な交流
		プロも市民も子どもたちも利用できるホール	一流に触れることで市民の想像力、思考力、コミュニケーションを刺激する	冷暖房と空調が良質かつ視聴覚に配慮したホール	『舞台芸術』と『展示』を分けた文化ホール	老若男女が安心して集える場づくり
新文化ホールの将来像		プロが上演できるホールでアマチュアも上演できる喜び	地元福知山で音楽会ができる	音響効果と視聴覚教育アップ効果のあるホール	安心・安全 床が滑らない安全なホール	障害のある方と健常者の助け合えるホール
		仕事帰りに立ち寄り、高級な文化芸術を鑑賞できるホール	仕事帰りに子ども、孫を連れて音楽を聞いてほっとできる			親が子どもを連れていきたくない文化施設

WS（中間報告）

■第2回 年間利用計画をシミュレーションし、新施設の将来像を考えよう

グループ		春	夏	秋	冬	通年・その他
コスモス 	やりたいこと・やってほしいこと		子どもたちを中心にしたコンサート	クラシックコンサート	オーケストラの演奏会	有名歌手のコンサート
			音楽コンサート	ピアノや声楽等の発表会	子どもから大人まで参加できるクリスマスコンサート	1000人集えるコンサート 室内楽の演奏
		各学校の発表	学校関係	演劇祭		音楽、ダンスのワークショップ
		大学の入学式・卒業式	自由研究の発表会	美術・書道・写真等の展示会	様々な利用	大学生、子どもの発表の場
			夏の祭りの中心となる		一般のグループ、会社の忘年会等にも使える場所	発表だけではなく練習場所としても使える
	新文化ホールの将来像	まちぐるみでのイベント	街に活気を取り戻せるイベント	おいしいものフェスティバル		周辺地域を巻き込んだイベント
		プロからアマチュア、学生まで	音楽に触れる環境	音楽ホール/多目的ホール	日常的なにぎわい	多世代・多様な交流
		有名なアーティストから学生まで利用できる	いろいろな音楽が聴ける	音楽専用のホール/多目的に使えるホール	人が集まりやすい、人を集めやすい	多様なグループの人を集めるための場所
		文化振興の拠点	バンドや音楽をやる人のためのスタジオ	800席くらいでいいので音響が考えられたホール	けいこ場として使える場所 気楽に寄れる場所	音楽、芝居、ダンスの先生同士の交流
		文化の花を咲かせる				
		北近畿の中心となる				世代間交流・人材育成

WS（中間報告）

■第2回 年間利用計画をシミュレーションし、新施設の将来像を考えよう

グループ		春	夏	秋	冬	通年・その他
うさぎ 	やりたいこと・ やってほしい こと	文化協会フェスティバル	ガラコンサート	文協特別事業コンサート	Kids Concert、小学生合唱コンサート 音楽コンサート	クラシックコンサート
		大正琴『琴遊歓びの祭典』	ピアノの発表会	吹奏楽練習、コンサート		ポップスプロのコンサート
		民俗資料使用 田植え	民俗資料使用 草刈り	民俗資料使用 千歯こきで脱穀	昔のくらし展	バンドフェスティバル
		地域の近代化遺産展 民俗資料の活用	研究プロジェクト(PBL)企画 展示①(体験ワークショップ)	地域の民話、街道展	研究プロジェクト(PBL)企画 展示②(体験ワークショップ)	障害がある方のはばたき フェスティバル
		学校関係				若いママ・パパと子どもたちが集う体験マーケット
		大学の卒業式、入学式	田んぼの生き物教室		卒業研究発表会(卒業制作展)	ミュージカルを子どもたちに 見せてあげたい
	新文化ホール の将来像	文化振興の拠点	空間づくり	福知山らしさ	地域文化	高齢者の生きがいづくり
		創造性、感性	集える空間	民俗文化→福知山らしさ	お酒・食文化	プロのアーティストの創作講座
		北近畿の芸術の中心	融合	福知山らしいホールの名前		市民講座

子どもから高齢者まで

WS（中間報告）

■第2回 年間利用計画をシミュレーションし、新施設の将来像を考えよう

グループ		春	夏	秋	冬	通年・その他
すすき 	やりたい こと・やっ てほしい こと	文化協会フェスティバル	学生の交歓音楽会 プロの演劇	音楽会 ダンス(バレエ、フラ、社交)	第九コンサート 市民参加、プ ロでも 音楽コンサート	演劇・ミュージカル 有名アーティストのコンサート
		大人の一年間の趣味発表 絵、 写真等	展示	有料絵画展(プロ) 市内小中学校美術展	絵画展、書道展	写真、絵画、書道等の展覧会
		ガーデニング教室	屋上でビアガーデン	合唱祭、歌の集い	合唱祭	スケボー
		伝統芸能公演 能、狂言、詩舞、踊	伝統芸能	歌舞伎、能など市民が参加	合唱	若い人たちのエネルギーを活 用したダンスの集い
	新文化 ホールの 将来像	文化振興の拠点	デジタル技術の活用	市民目線の運営	居心地の良い空間づくり	中高生と大人の楽器の集い
		文化圏の中心の役割	オンラインで全世界とつなが る	市民が使いやすいホール(料 金的にも)	いつ訪れても心が癒される場 所	eスポーツのイベント
		非日常感を味わえる場	舞台上演中のモニターが見れ る	専門家が常駐している	野外芸術が常設されている施 設(彫刻等)	スケボー、逃走中
		若い人が帰ってきたくなる空 間＝場所	まちとのつながり 他の施設も含めて周遊でき るような広い空間イメージ	災害時の高所避難所 喫茶室(喫茶店)	人が自然と集まれる空間 「溜まり場」の機能	パブリックビューイング 練習できる場所 若者向け

➡音楽系のイベント、まちぐるみで開催するフェスティバルや親子で楽しめるイベント、伝統芸能など福知山らしさを活かしたイベント等がやりたいこととしてあげられ、一方で、特別な催事がない日でも日常的に憩える、創造性や感性を育む場であってほしいという願いが多くみられました。

また、若い世代に参加してほしいという思いから、参加しやすい仕組みづくり、若い世代が楽しめる取り組み等を実施しようという意見があがりました。

新文化ホールの将来像として「鑑賞・発表の場」「音楽に触れられる環境」「各種文化芸術活動が可能な環境」「日常的なにぎわい」「多世代での交流」「文化振興の拠点」などがあがりました。

2. 基礎調査の補填

(2) Webアンケートの報告

実施概要

実施期間	令和4年8月17日（水）～9月30日（金）
実施方法	市HP、市LINE、市Twitter、設問表配布
回答数	118件 ※次ページ以降のN値は回答数を示しています。
設問内容	I.回答者属性 II.鑑賞について III.文化芸術活動について IV.厚生会館について V.新文化ホールに期待することや要望など

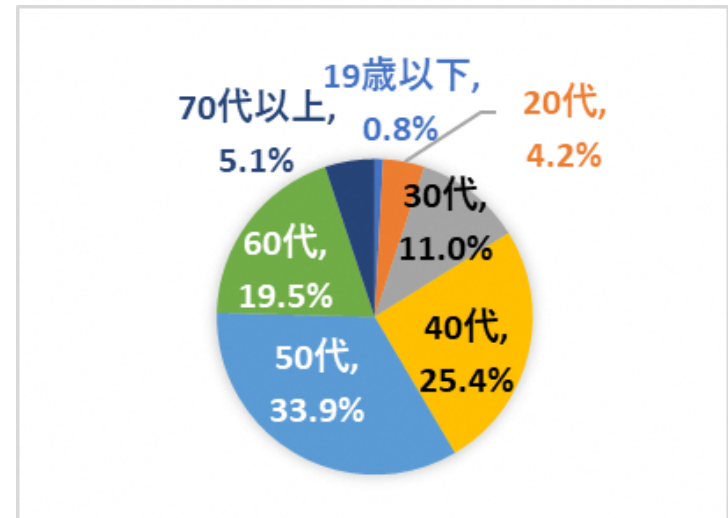
回答者属性

- ・ 回答者はほとんどが福知山市内在住者です。
- ・ 年齢層別では、40、50、60代の回答が多かったです。

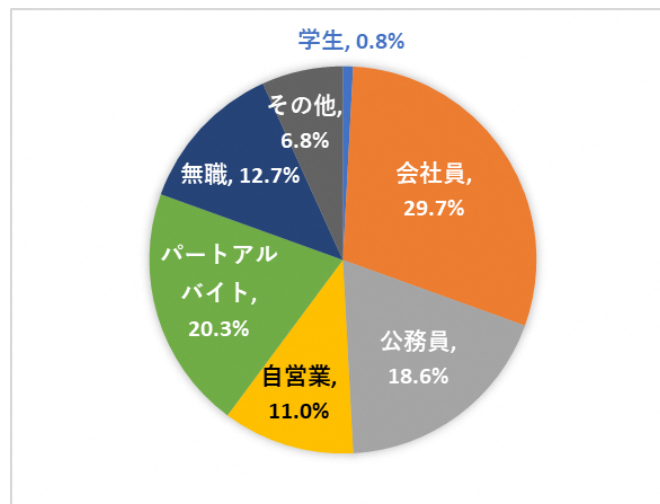
■居住地 N=118



■年齢 N=118



■職業 N=118

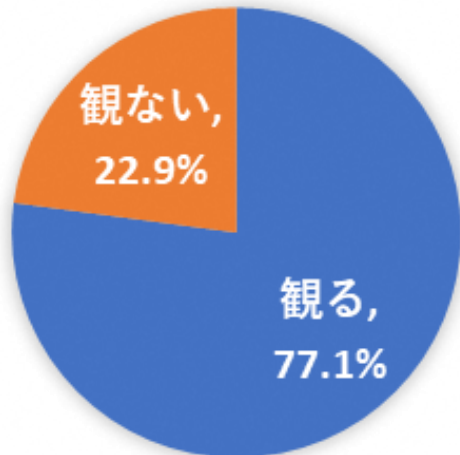


鑑賞について

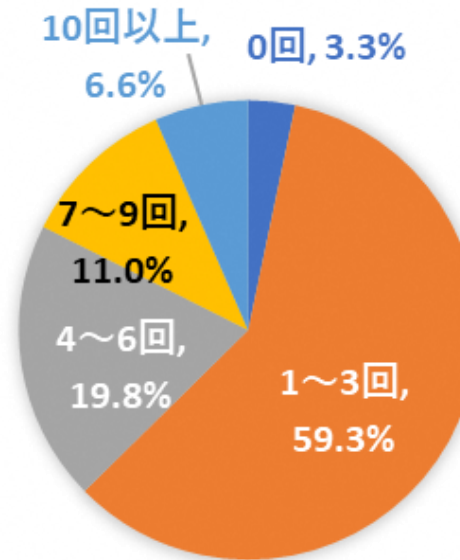
①鑑賞経験

- 1年に1度以上、劇場・ホールにて「鑑賞経験がある」と回答したのは、77.1%でした。
- 新型コロナウイルスの影響を受ける前の平成30年度における鑑賞経験は、「1～3回」と回答した割合が最も多い結果となりました。

■ 鑑賞経験の有無 N=118



■ 平成30年度の鑑賞回数 N=91

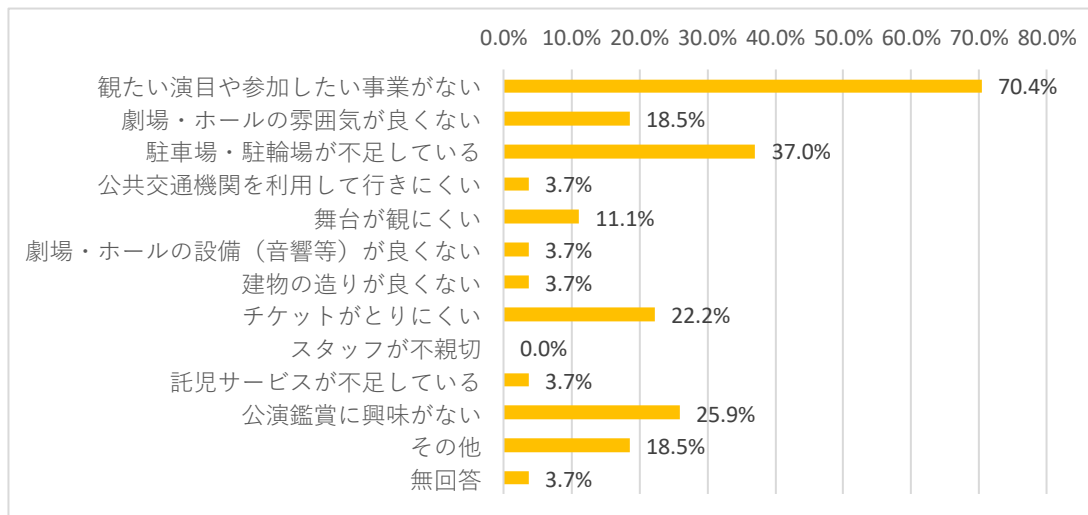


鑑賞について

②鑑賞しない理由

- ・ 鑑賞しない理由としては、「観たい演目や参加したい事業がない」が70.4%と圧倒的に多数となっています。
- ・ 「駐車場・駐輪場が不足している」が全体の約4割を占め、「公演鑑賞に興味がない」「チケットがとりにくい」が全体の2割強～3割弱となっています。
- ・ 参加者が求める魅力的な演目や事業の提供が課題として考えられます。「公演鑑賞に興味がない」層への広報宣伝等の強化を含めた働きかけ、また、チケットシステムや運営の改善が求められます。

■鑑賞しない理由（複数回答可） N=27



«その他の回答»

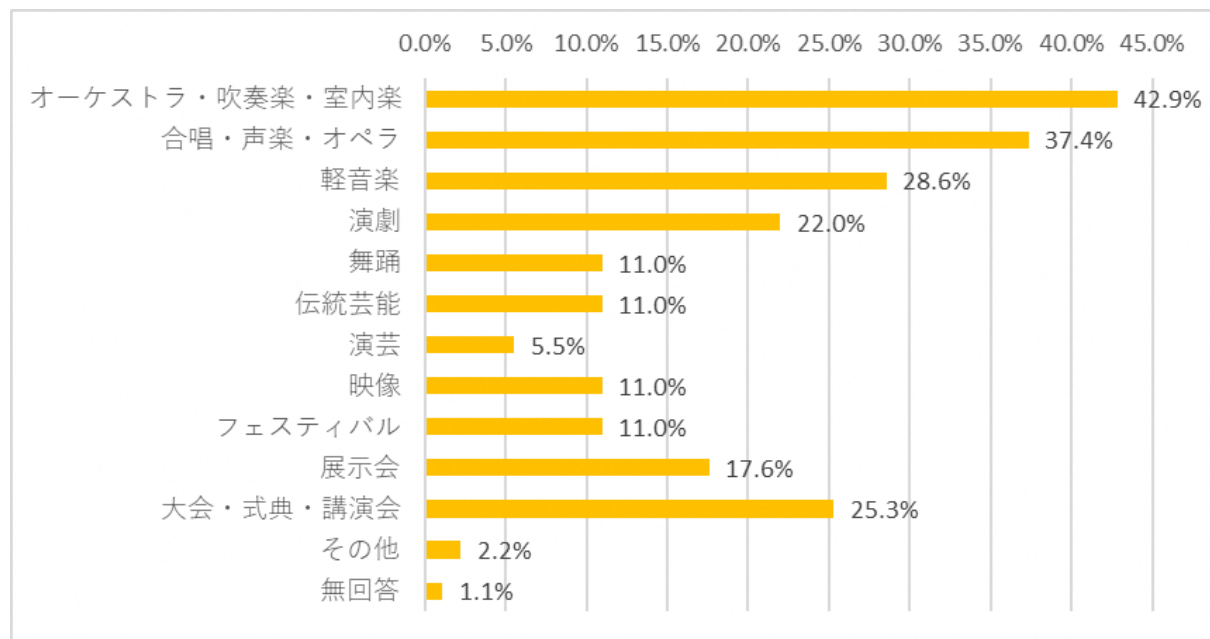
- ・ Wi-Fi等通信環境が整備されていない。
- ・ 観たい演目をやっている劇場が遠い。
- ・ 開催情報が入ってこない。受け取る余裕がない。
- ・ 子育て中に行けない。

鑑賞について

③鑑賞ジャンル

- 主な鑑賞ジャンルは、「オーケストラ・吹奏楽・室内楽」が4割強、「合唱・声楽・オペラ」が4割弱、「軽音楽」が3割弱となっており、音楽系の割合が高い結果となっています。

■主な鑑賞ジャンル（複数回答可） N=91



«その他の回答»

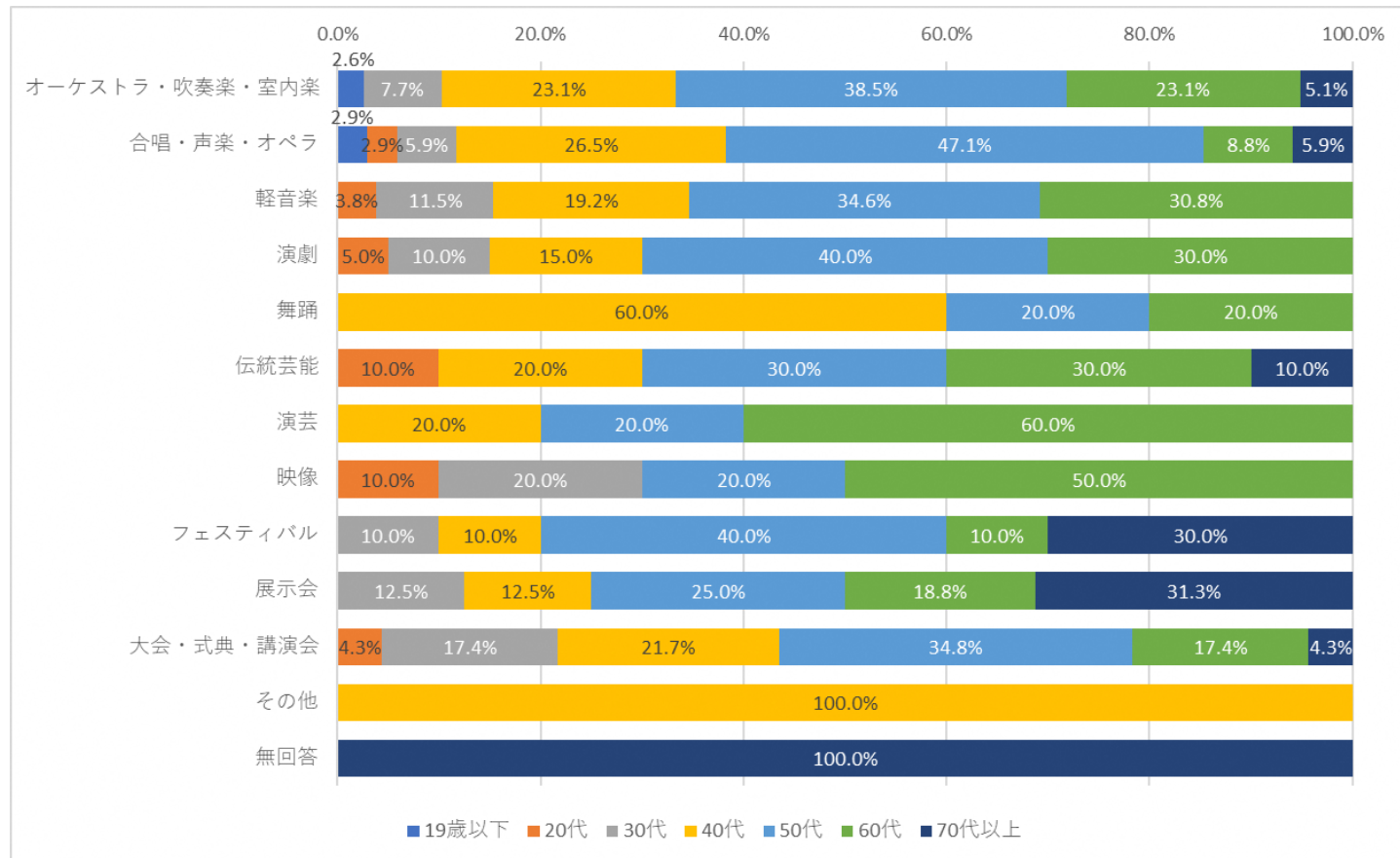
- ・ピアノ発表会。
- ・演歌の公演。

鑑賞について

③鑑賞ジャンル

- 「舞踊」「演芸」は、40代以上の世代のみでの鑑賞が行われています。
- 60代の鑑賞では「演芸」「映像」の割合が高く、70代以上では「フェスティバル」や「展示会」が3割となっています。

■世代別×鑑賞ジャンル（複数回答可） N=91

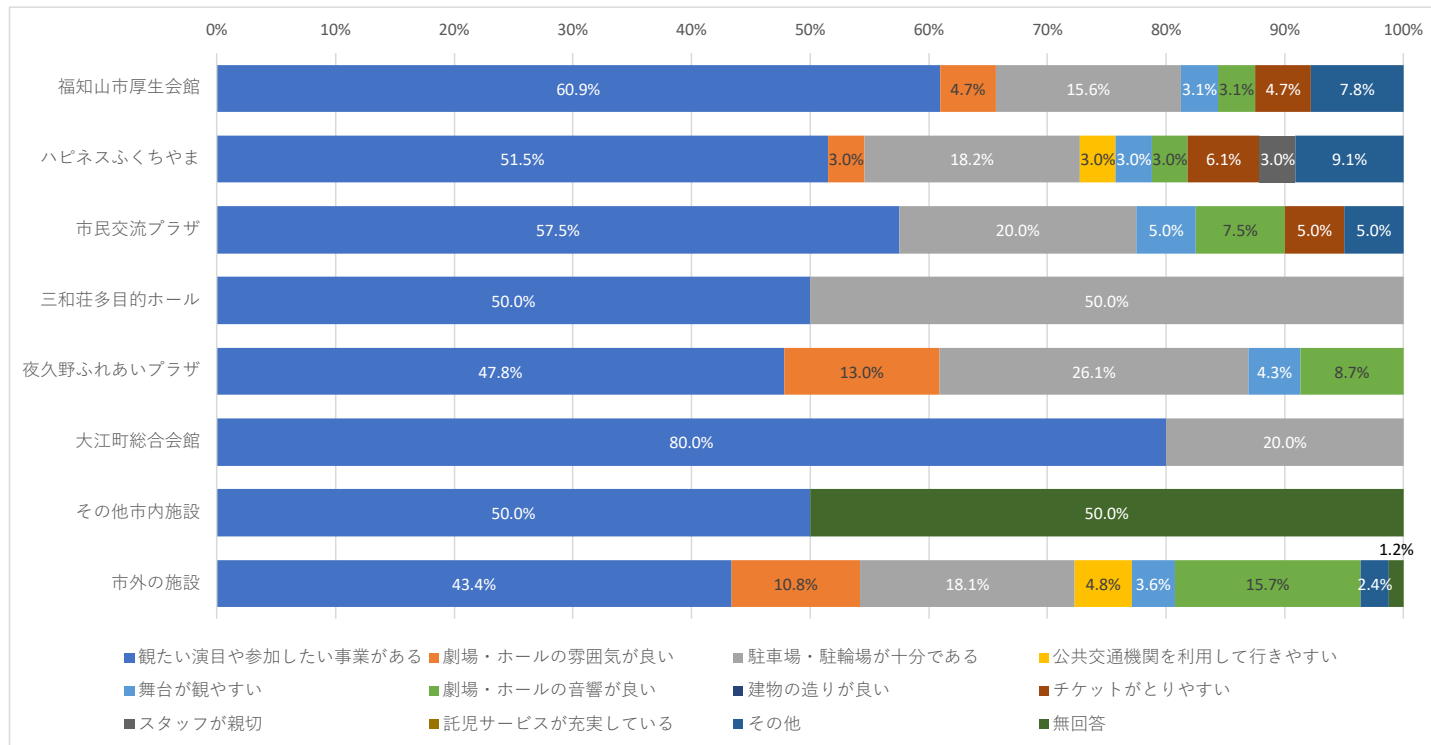


鑑賞について

④鑑賞で訪れる施設とその理由

- 「観たい演目や参加したい事業がある」がどの施設においても割合が高い結果となっており、演目や参加したい事業の工夫が重要なことがわかります。

■活動場所×利用する理由（複数回答可） N=52



《その他の回答》

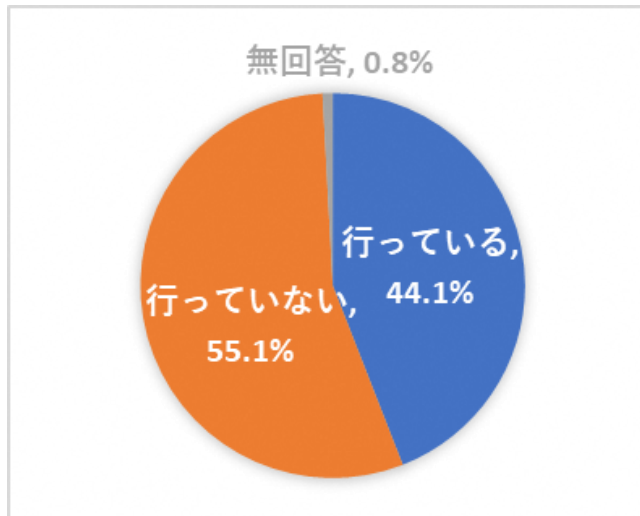
- ・自宅から近い（3）
- ・市の中心部にあるから。
- ・好きなアーティストのライブのため。
- ・イベント主催者として企画、演出に携わっているから。
- ・プロの照明スタッフ（チーフ）として入る。

文化芸術活動について

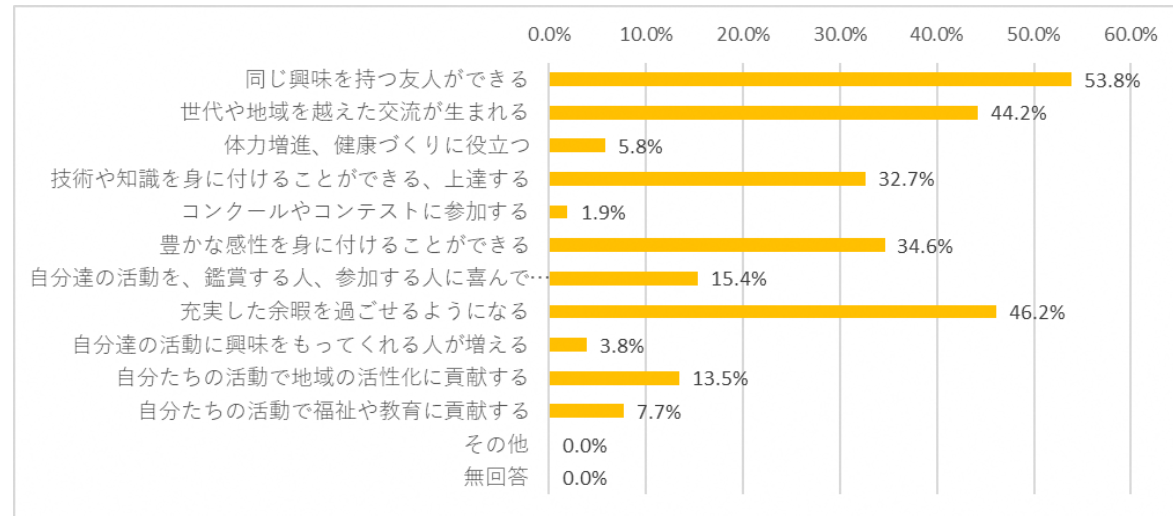
①文化芸術活動の有無と活動目的

- 文化芸術活動を行っている人は44.1%で、目的は「同じ興味を持つ友人ができる」が5割強となっています。

■活動の有無 N=118



■活動目的（複数回答可） N=52

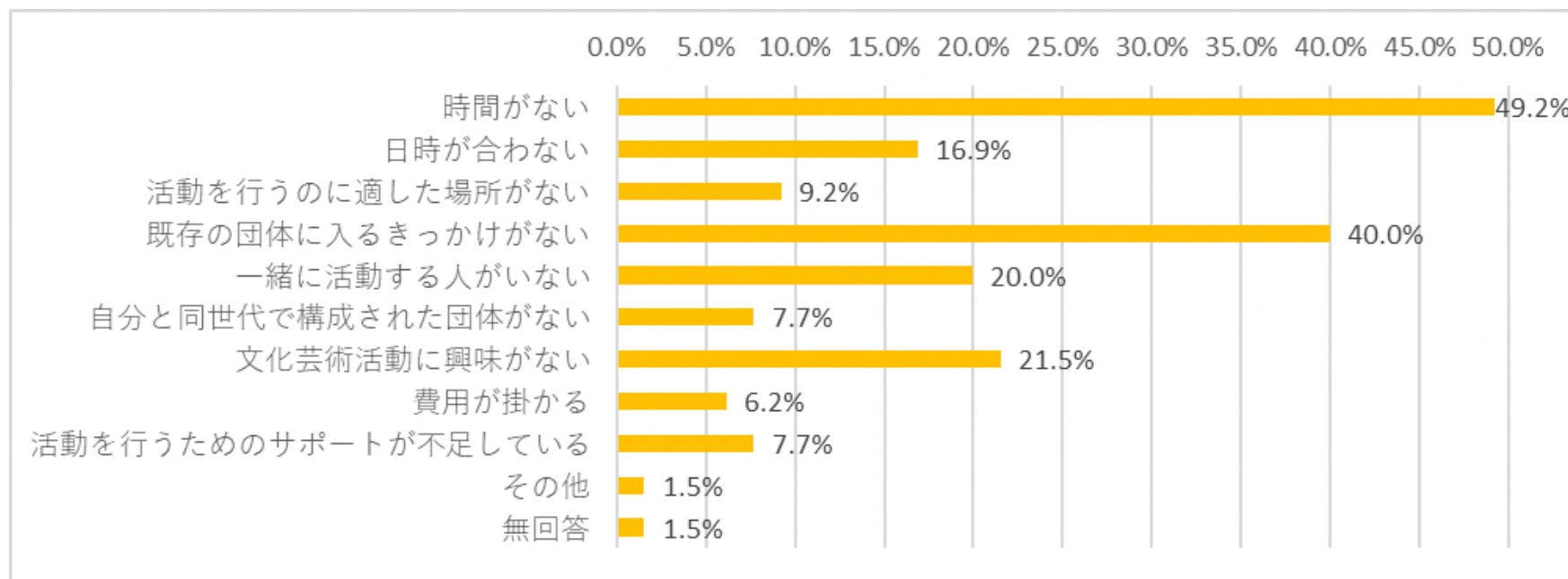


文化芸術活動について

②活動しない理由

- 「時間がない」が約5割と最も多く、次いで「既存の団体に入るきっかけがない」が4割となっています。既存の活動団体だけでなく、新規参加者が活動しやすい環境づくりが求められています。

■活動しない理由（複数回答可） N=65



《その他の回答》

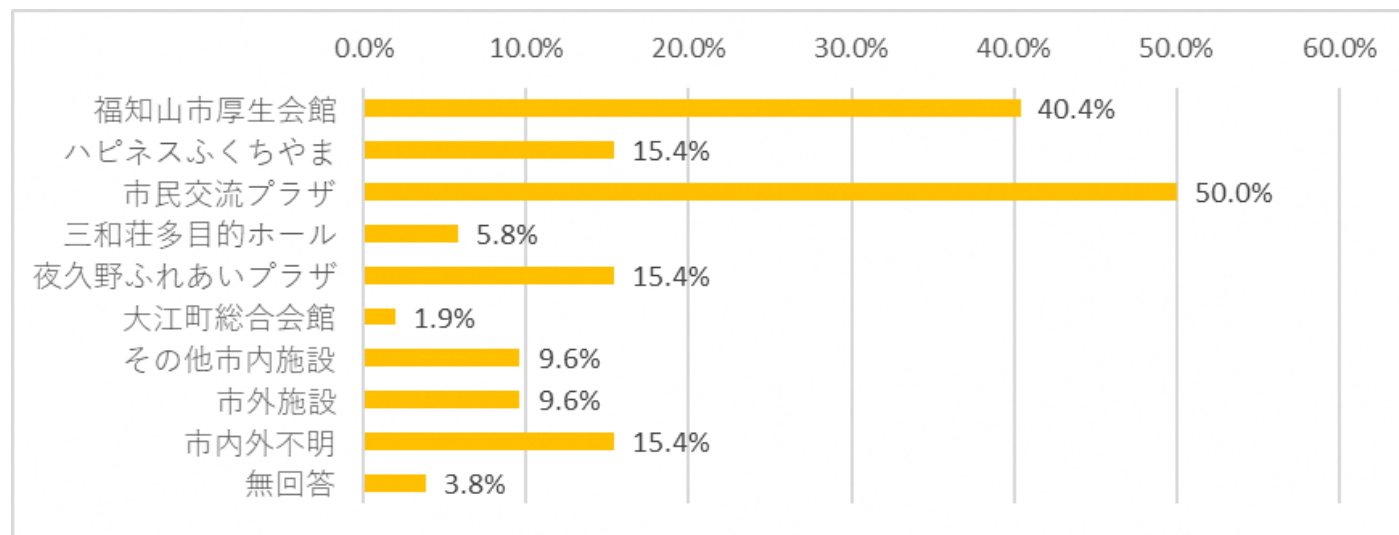
- 鑑賞をする側で楽しみたい。子どもの習い事の立ち会い程度。

文化芸術活動について

③活動する場所と場所選びの理由

- 文化芸術活動の場所としては、市民交流プラザが5割、厚生会館が4割となっています。市外施設も1割弱が利用されています。

■活動する場所（複数回答可） N=52



《その他の回答》

【その他市内施設】・三段池、ゆらのガーデンなど屋外、自然の多いところ

・スタジオファーム ・公民館など ・寺院本堂 ・市内民間ホール

【市外施設】・中丹文化会館（2） ・中丹勤労者福祉会館 ・福知山ではない（2）

【市内外不明】・習い事のレッスン場（2） ・地域公民館（4）

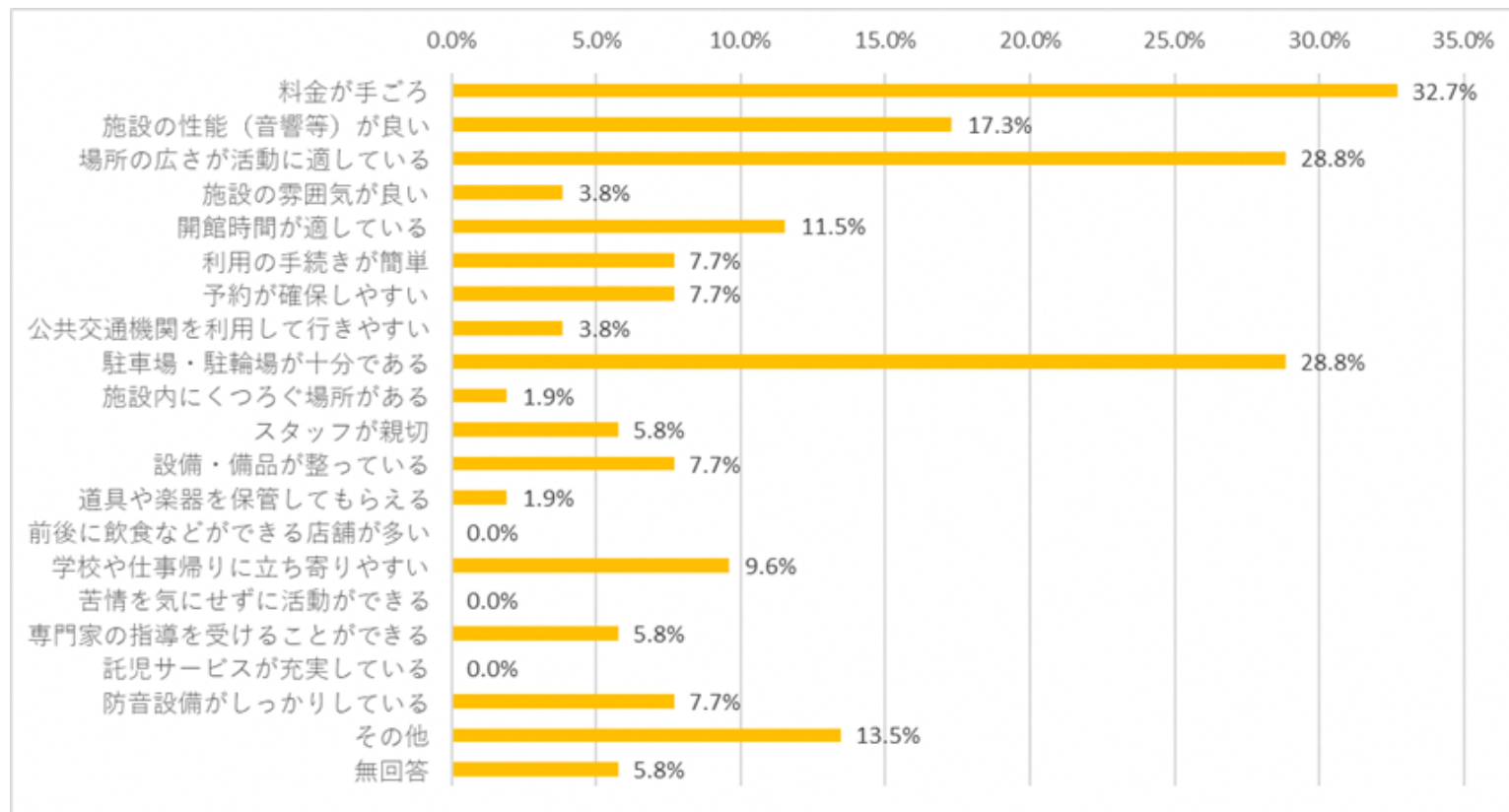
・小さな活動なので大きな会場は使わない（2） ・小学校の教室（2） ・インスタグラム

文化芸術活動について

③活動する場所と場所選びの理由

- 場所選びの理由は、「料金が手ごろ」が3割以上で最も高く、「場所の広さが活動に適している」「駐車場・駐輪場が十分である」が3割弱となっています。

■場所選びの理由（複数回答可） N=52



※その他の回答は次のページに掲載

文化芸術活動について

③活動する場所と場所選びの理由

■場所選びの理由（複数回答可） N=52

«その他の回答»

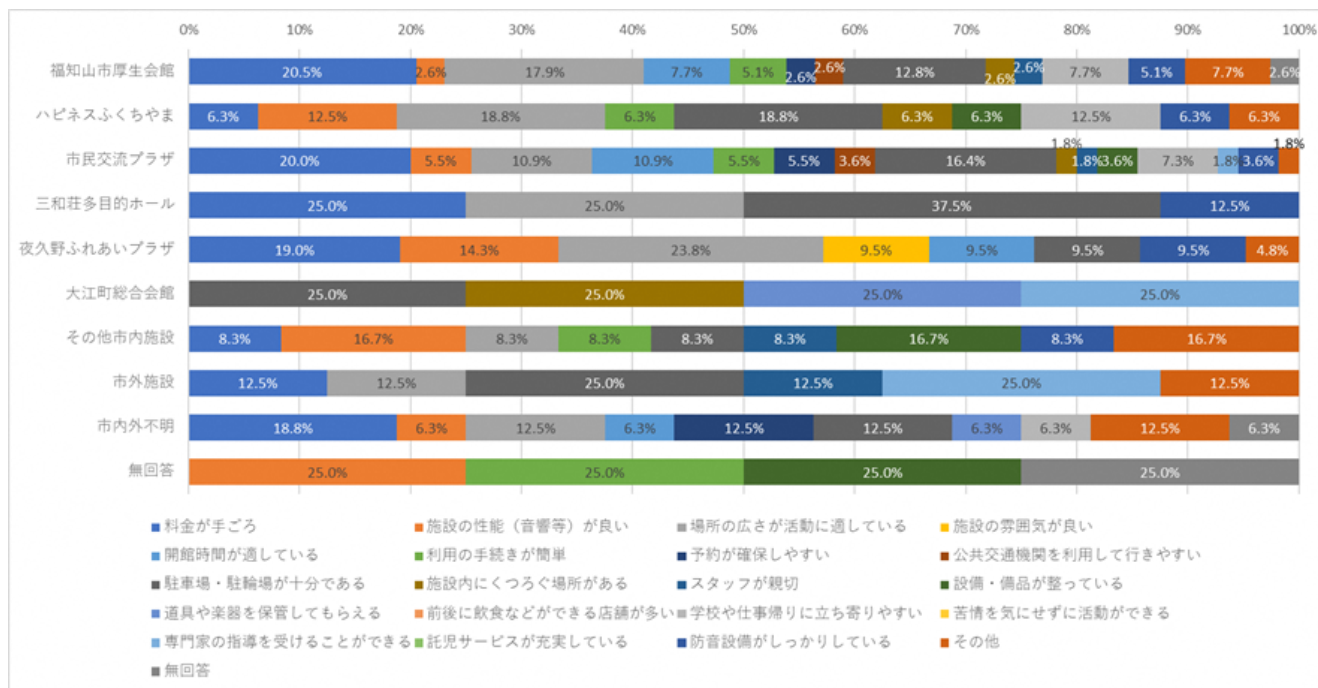
- ・福知山の文化施設は、どれも当てはまらない（福知山では活動していない）。
- ・趣味のものなので のびのびとできるところ。今のところ困っていない（三段池、ゆらのガーデンなどを利用）。
- ・習い事のレッスン場。
- ・自分の機材でできる（Instagramで活動）。
- ・市内にコンサートホールが無いため、寺院の本堂を利用。
- ・すでに、そこでやると決められているから（厚生会館、市民交流プラザ、夜久野ふれあいプラザ利用）。
- ・近隣にそこしか無いから（厚生会館、ハピネスふくちやま）。

文化芸術活動について

③活動する場所と場所選びの理由（クロス集計）

- 利用の多い市民交流プラザでは、「料金が手ごろ」が2割で最も多く、次いで「駐車場・駐輪場が十分である」が2割弱となっています。厚生会館では、市民交流プラザと同様に「料金が手ごろ」が2割と最も多く、「場所の広さが活動に適している」が2割弱となっています。
- 市外施設を利用する理由としては、「駐車場・駐輪場が十分である」、「専門家の指導を受けることができる」が3割弱となっており、アクセス環境の改善、専門スタッフの配置等が求められていることがわかります。

■活動する場所×場所選びの理由（複数回答可）N=52

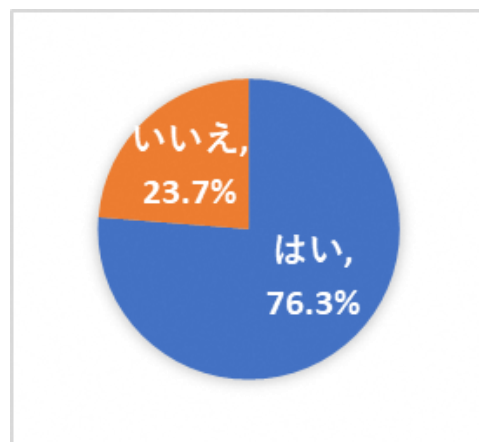


厚生会館について

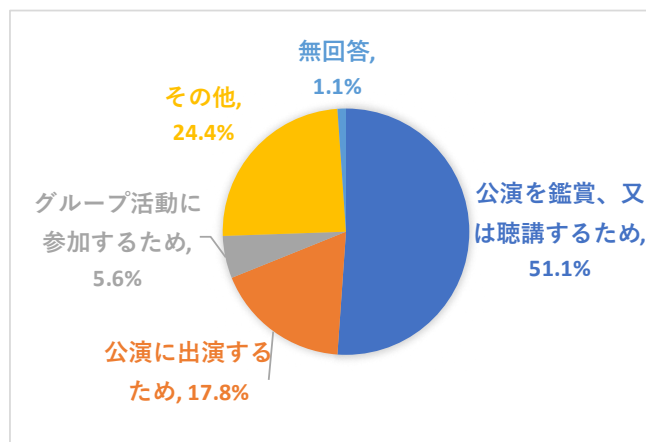
①来訪の有無と目的

- ・ 厚生会館への来訪経験があると回答した方は、全体の8割弱となっています。
- ・ 来訪の目的は、「公演を鑑賞、又は聴講するため」が約半数を占めており、次いで「その他」が約3割弱で、その他の回答に見られるように、展示の鑑賞のために来訪したという回答が多くあがっています。
- ・ 鑑賞ジャンルは、「発表会・コンクール」が4割強、「舞台鑑賞」が4割弱となっています。

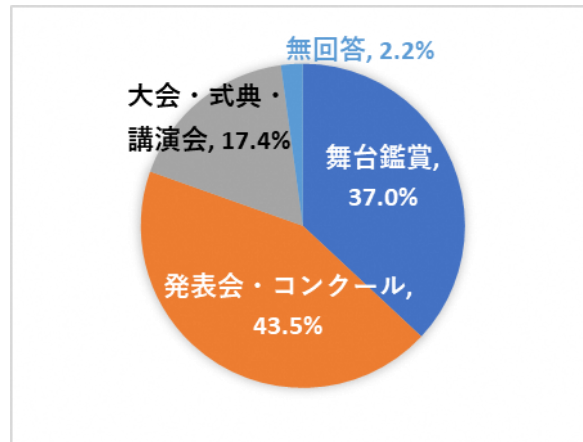
■来訪の有無 N=118



■来訪の目的 N=90



■鑑賞ジャンル N=46



«その他の回答»

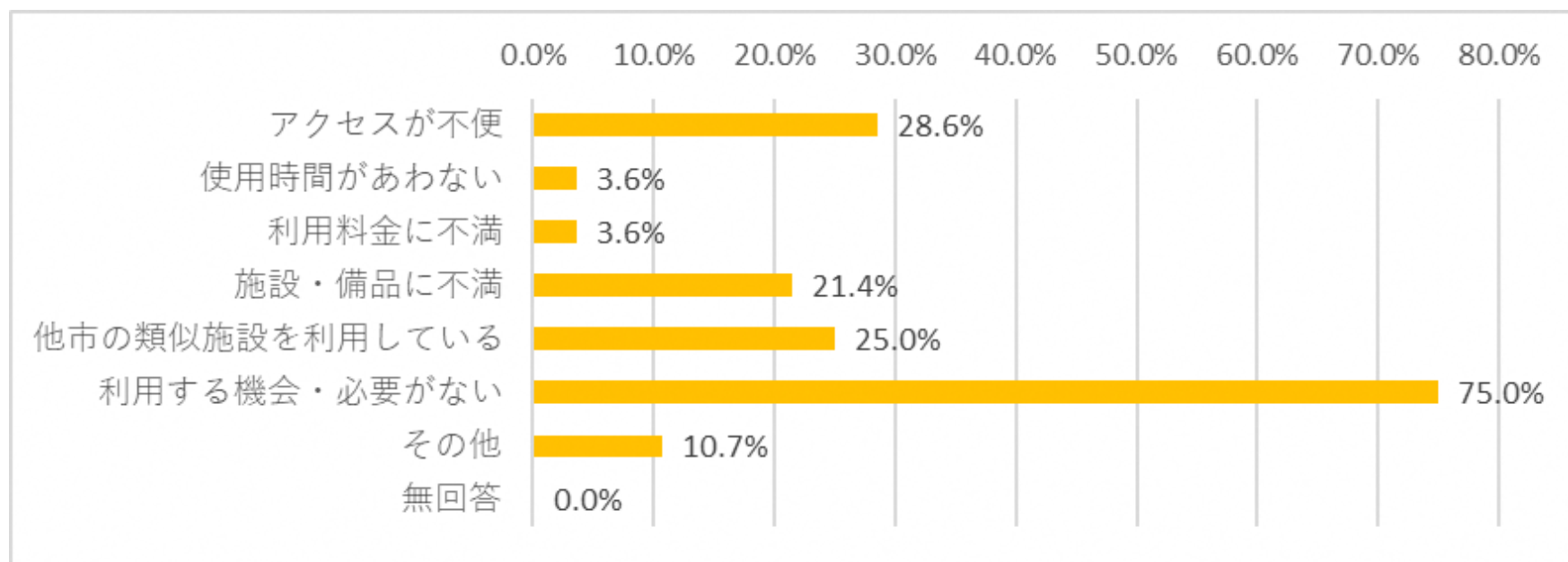
- ・ 絵画等の展示の鑑賞 (5) 。
- ・ 市展鑑賞 (2) 。
- ・ 小中学校美術展 (3) 。
- ・ 学校説明会。
- ・ 消防団出初式。
- ・ うまいもの展等地域のイベントへの来場 (6) 。
- ・ お祭り時にロビーの売店を訪問。
- ・ 公演を主催・開催するため (3) 。
- ・ 「スタインウェイを弾いてみよう」に参加。

厚生会館について

②来訪しない理由

- 「利用する機会・必要がない」が8割弱となっており、これまで利用していない人にも利用してもらえるような取り組みが求められます。

■来訪しない理由（複数回答可） N=28



《その他の回答》

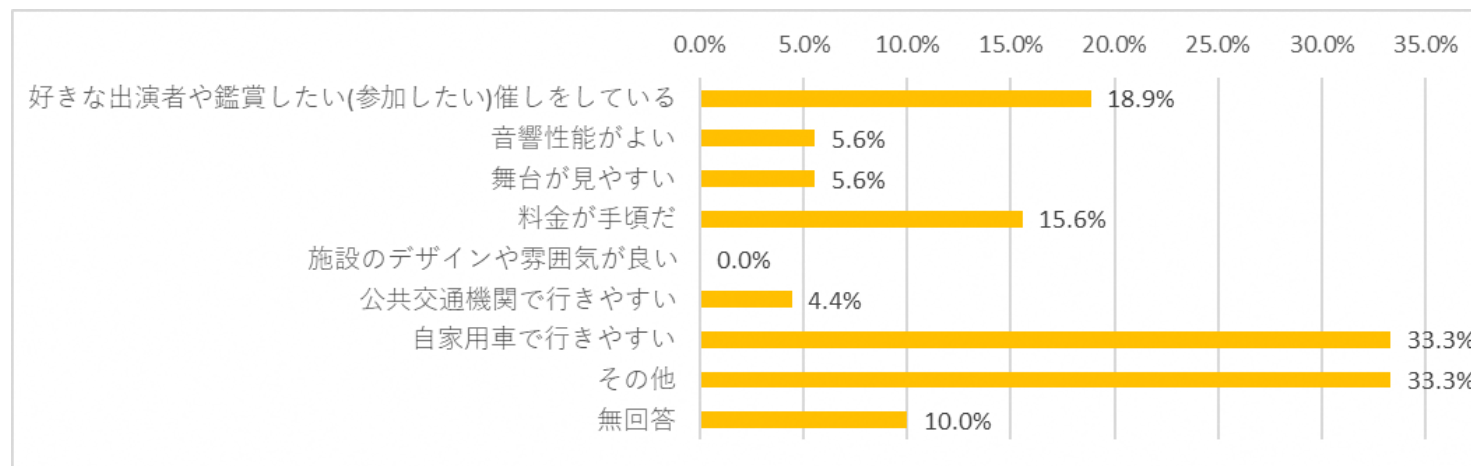
- ・発表会で年に一度使う程度で見たいものが来ない。
- ・施設が古すぎる。
- ・魅力的なコンテンツが無い。

厚生会館について

③厚生会館の満足度

- 厚生会館の満足度（魅力）という観点では、「自家用車で行きやすい」との回答が3割以上ある一方で、次ページに示す「その他」の回答が同じく3割以上となっています。その他の回答では、「立地が良い」という意見が多くありましたが、「魅力はない」「他に適当な施設がないため仕方なく使っているだけ」という否定的な意見もあがっています。

■厚生会館の魅力（複数回答可） N=90



※その他の回答は次のページに掲載

厚生会館について

③厚生会館への満足度

■厚生会館の魅力（複数回答可） N=90

«その他の回答»

【魅力に関する意見】

- ・立地が良い（7）。
- ・福知山市の諸活動の中心施設で長年にわたり、中心市街地のシンボリック存在。また、お城まつり、ドッコイセまつり、スイーツフェスなど広小路、御霊神社境内、御霊公園等一体化した重要施設。長年にわたり、地域の商店街、商工会議所、JCなど各団体が盛り上げてきた歴史。
- ・多目的ホールとして活用して自由自在に自分たちのイベントを構成できるから。

【否定的な意見】

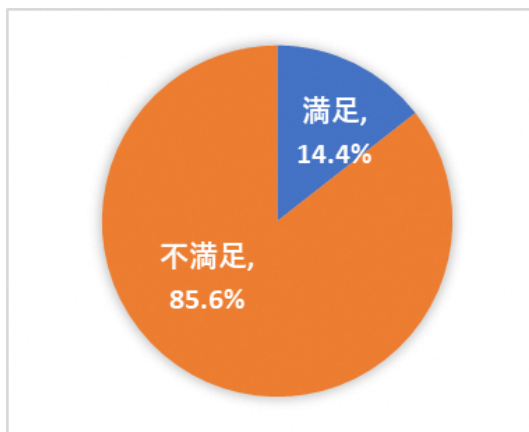
- ・会場、設備、音響において魅力は無い（13）。
- ・今の所は厚生会館しか適当な会場が無い（6）。
- ・駐車場台数が不足している。（2）。
- ・プロを呼ぶには残念な部分が多い。会場設備に関して近隣市の方が優っているので知名度のある出演者が流れている。交通の便はいいのだからもったいない。
- ・建物は古く、客席数も中途半端。綾部市の中丹文化会館の方がまし。

厚生会館について

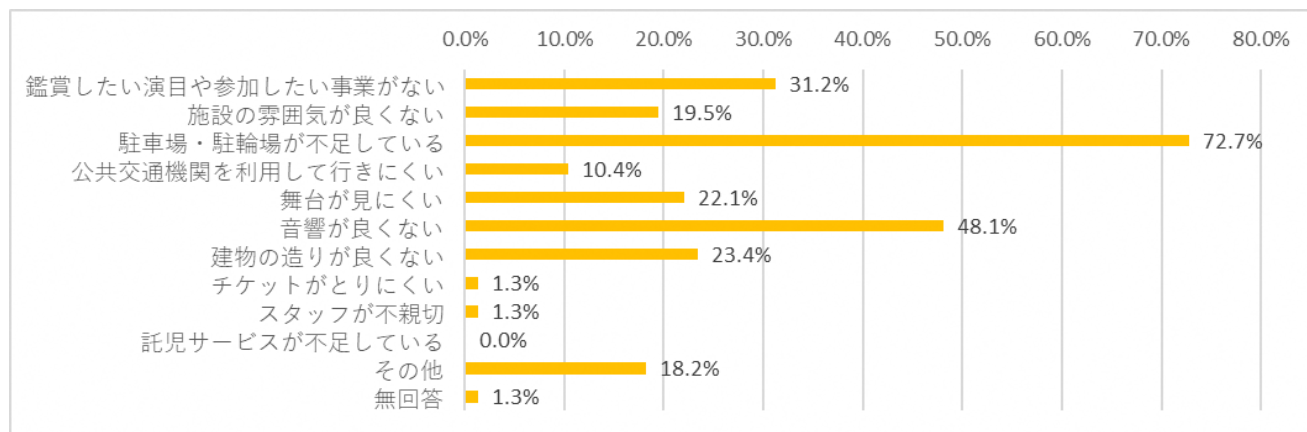
③厚生会館への満足度

- ・ 厚生会館の満足度は低く、「不満足」が8割以上を占めています。
- ・ 満足していない理由としては、「駐車場・駐輪場が不足している」が7割以上で最も高く、次いで「音響が良くない」が5割弱、「鑑賞したい演目や参加したい事業がない」3割程度となっています。

■ 満足度 N=90



■ 満足していない理由（複数回答可） N=77



《満足していない理由のその他の回答》

- ・ 老朽化（2）
- ・ 舞台袖の雨漏りがひどかった。
- ・ 控室の数少ない。
- ・ お手洗いの数が少ない。
- ・ トイレが古い
- ・ 舞台としての基本設備が不足している。
- ・ リノリウムが重たい。
- ・ 照明が全体的に暗い。
- ・ 常設カフェなど休息する場所がない。

新文化ホールに期待することや要望など

①新たな施設に期待すること・やりたいこと

- この項目では現施設の課題、市のまちづくりや文化振興といった観点から、新文化ホールの方向性、規模や機能、設備、立地、開館後の運営面、計画の是非等も含め、様々な側面からご意見をいただきました。
- 施設の方向性としては、「今の福知山にふさわしい施設」「本格的な鑑賞環境の確保」等が意見としてあげられ、規模や機能に対しては様々な考え方があり、コンセプトに沿って検討を行うことが求められています。特に、基本的な設備の確保・充実、駐車場の台数を確保すること等の意見が多くみられました。

厚生会館への意見

- ・老朽化、利便性、駐車場に問題あり。

福知山市のまちづくりや文化振興

- ・出生率の高い町らしく、子育てしやすい町となってほしい。
- ・特定の団体がしたいことはわかるがもっと文化活動の裾野を広げる方法を考えてもっとみんなを巻き込んで、福知山市民全員がつながっていくべき。

施設の方向性

- ・本格的な鑑賞環境の確保（3）。 ・コンセプトに沿った整備（2）。
- ・今の福知山にふさわしい施設（4）。 ・多世代で利用できる施設（1）。
- ・気軽に利用できる施設（2）。

規模

- ・周辺施設とのすみわけ（2）。 ・大規模な施設（4）。 ・規模よりも性能（3）。

新文化ホールに期待することや要望など

①新たな施設に期待すること・やりたいこと

ホール機能

- ・各種専用ホール（4）。　・音楽専用ホール（5）。　・多目的ホール（2）。

座席

- ・舞台を見やすく使い勝手の良い客席（12）。

その他設備・機能

- ・ **基本的な設備の確保・充実（35）**
- ・ その他諸室（小会議室、展示スペース、控室、練習室、リハーサル室等）（12）。
- ・ 共用部等（6）。　・ 動線。

アクセス

- ・ **駐車場の確保（24）**。　・ 交通手段の整備（2）。

立地

- ・ 現地（2）。　・ 三段池（2）。　・ その他（現地以外、現地ありきでない検討）。

運営

- ・ 人材の確保（3）。　・ 広報宣伝の充実。　・ 他都市との連携。

事業

- ・ プロのアーティストの公演（3）。　・ 幅広い事業（7）。

その他

- ・ ホール名称の提案。　・ 検討状況の透明化（4）。　・ 計画への反対意見（3）。

新文化ホールに期待することや要望など

②福知山らしさを活かしたホールへの意見

- ・ 「福知山らしさ」に対して、周辺とのすみわけ、各種機能・規模・設備・立地等様々な観点からご意見をいただきました。
- ・ 市民にとって誰もが利用しやすく、様々な鑑賞・体験ができる施設であることが求められています。また、市民団体や施設が連携して活動している事例もあげられており、こうした活動を活性化するための人員配置が求められています。
- ・ 文化としての福知山らしさが不透明であるという意見もあり、今後計画を進めていく中で福知山の文化の強みや魅力を模索していく必要があります。

周辺施設とのすみわけ

- ・ 周辺市町に規模が大きい施設があるため、規模を大きくして取り合うのではなく、福知山市民をターゲットとし市民が利用しやすい施設とする。

体験の充実

- ・ 劇場でしか体験できないものを提供。
- ・ 今は遠出しないとみれない演目を地元で。
- ・ 子どもからお年寄りまで、楽しく観賞できる。

様々な催事が開催可能

- ・ 年間を通して無理のない規模の事業・外部興行が継続的に開催できる。
- ・ 多少狭くなっても音楽等鑑賞に特化したホールと展示などのスペースとを分ける。
- ・ 多様なイベントが可能な空間。

市民が利用しやすいホール

- ・ 大きなイベントだけでなく、市民が利用しやすいことが福知山らしさに繋がる。
- ・ 文化協会に所属している団体が、利用しやすい様に、小ホールも作ってほしい。

新文化ホールに期待することや要望など

②福知山らしさを活かしたホールへの意見

音楽専用ホール

- ・府北部には音楽専用ホールがないので、音楽用のホールがほしい。

共用部での常設展示等

- ・ロビー等で福知山の写真、ドッコイセの銅像の、福知山城のミニチュア、街のジオラマの展示等、催しがなくても見たくなるものを常設展示する。
- ・モニターを設置して、お祭りや観光の映像、ホール催事の宣伝等を上映する。

活動団体の連携のための人員配置

- ・市内の活動団体や市内各地の文化施設等の連携を強化するため、文化振興に造詣の深い職員を配置してつなぎの役割を持たせる。

土地の特産やイメージを取り入れる

- ・緞帳に地元のイメージを反映する。
- ・豊かな緑を活かす。
- ・福知山らしいデザイン。

人口や地域性に沿った施設

- ・人口や地域性等、福知山の規模に合ったホール。

独創性のあるホール

- ・マスコミによく取り上げてもらえるホール。
- ・アーティスト受けするホール。

情報発信の強化

- ・継続的な情報発信。

新文化ホールに期待することや要望など

②福知山らしさを活かしたホールへの意見

防災機能

- ・水害等の避難所としての機能を充実させる。
- ・地域の防災拠点。

設備・デザイン

- ・車椅子の確保。
- ・公園、カフェ、レストラン併設。

立地

- ・現敷地は時代遅れ。
- ・三段池公園。

市民意見聴取の必要性

- ・市民の意見を十分ヒアリングするべき。
- ・福知山市公立大生の意見をきくべき。

既存施設の活用

- ・既存施設をうまく活用して、それらの施設ではできないものをつくるべき。

外観重視ではない

- ・外観が特徴的というよりも、中身が使いやすいものがよい。

福知山らしさが不透明

- ・文化面での福知山らしさというのが伝わっておらず、よくわからない。

その他

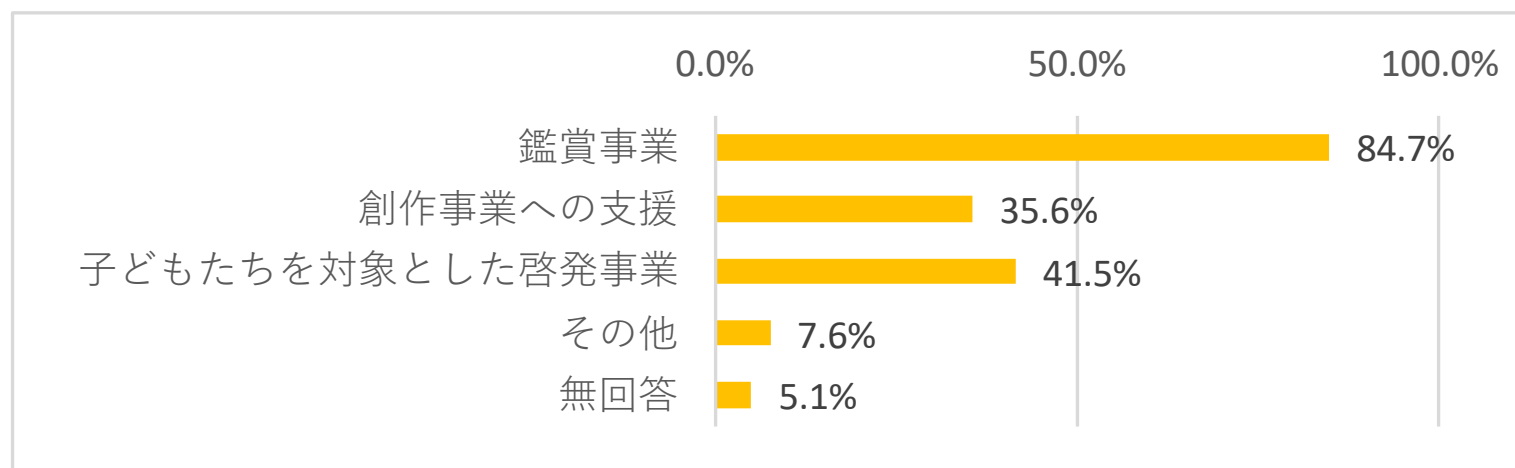
- ・福知山市には文化活動にかかわる施設が少ない。
- ・収益性のあるホール。

新文化ホールに期待することや要望など

③用途や期待する事業

- 期待する事業は、鑑賞事業が8割以上を占めています。一方で、創作事業や子どもたちを対象とした事業も3～4割の回答があったことから、市民ニーズを把握し、様々な需要に応える事業を企画・実施することが求められています。

■期待する事業（複数回答可） N=118



«その他の回答»

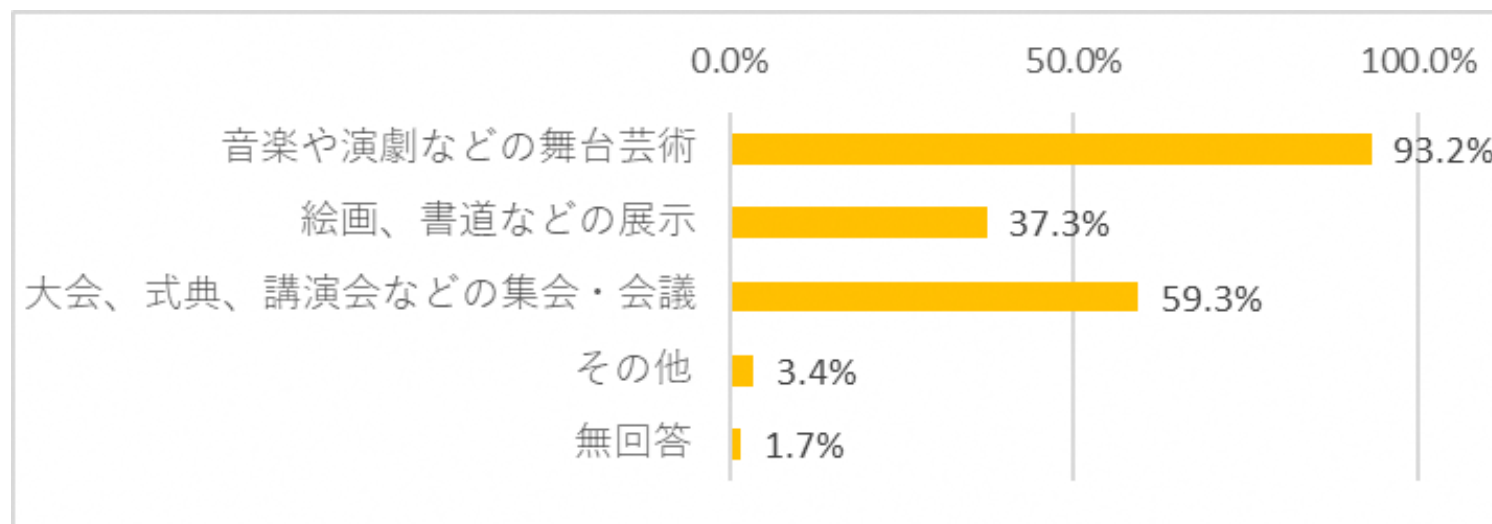
- ・席が固定されると今後は展示のようなものができなくなるのか。
- ・プロの音楽家やミュージカル団体の公演。
- ・子どもたちが遊びながら、文化鑑賞ができるなど混ぜこぜの施設。可変式。

新文化ホールに期待することや要望など

③用途や期待する事業

- 必要な用途としては、「音楽や演劇などの舞台芸術」が9割以上、次いで「大会、式典、講演会などの集会・会議」が6割近く、「絵画、書道などの展示」が4割弱という結果となりました。

■必要だと考える用途（複数回答可） N=118



«その他の回答»

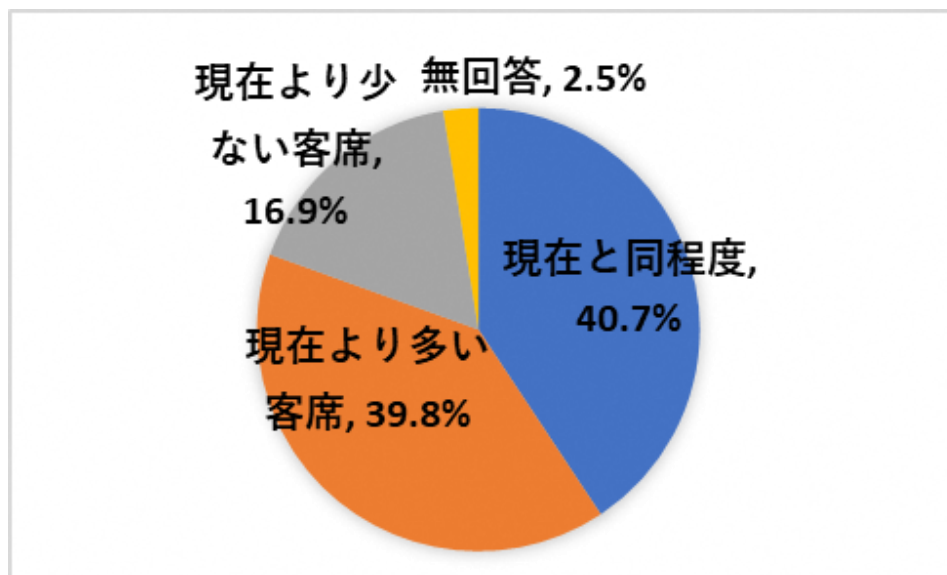
- 外部の主催者に選んで貰えるような、しっかりした作りのホール。
- 無駄にならないようにいろいろなことに使用してほしい。
- ミュージカルや能などでもできるホール。
- 防災。

新文化ホールに期待することや要望など

④規模・機能・立地環境

- 規模としては、「現在と同程度」が4割、「現在より多い客席」が4割弱、「現在より少ない客席」が2割弱という結果となりました。

■ 規模 N=118

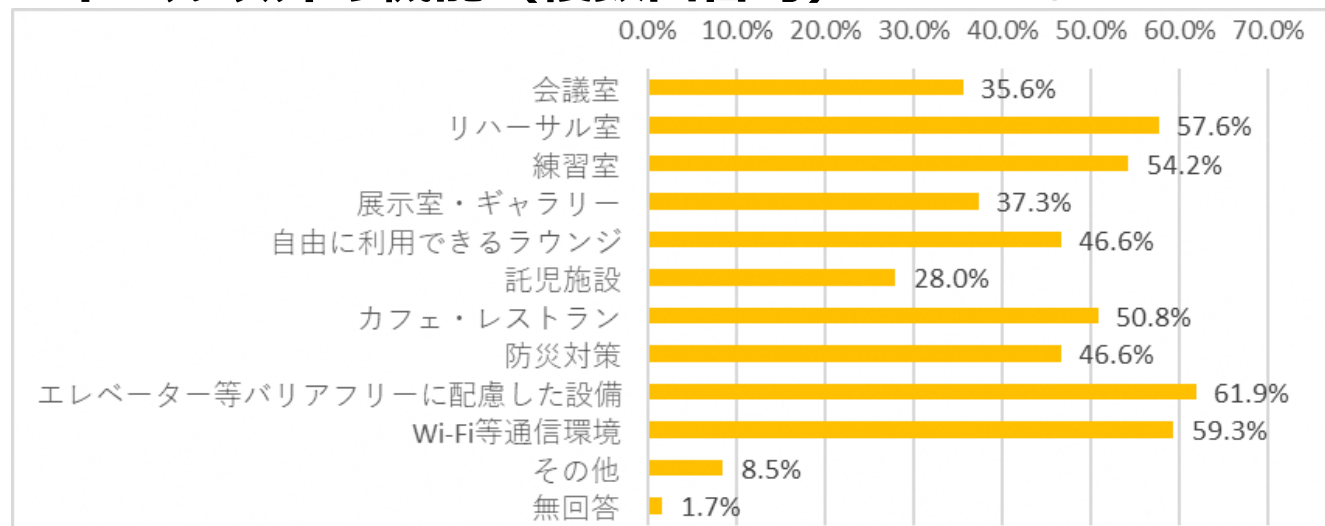


新文化ホールに期待することや要望など

④規模・機能・立地環境

- ホール以外に必要なと考える機能は、「エレベーター等バリアフリーに配慮した設備」が6割以上、「Wi-Fi等通信環境」「リハーサル室」「練習室」が6割弱、次いで「カフェ・レストラン」「自由に利用できるラウンジ」「防災対策」が5割程度となっています。基本的なバリアフリーや通信環境の整備を行ったうえで、日常的な練習や憩いの場を備えることが求められています。

■ホール以外の機能（複数回答可） N=118



«その他の回答»

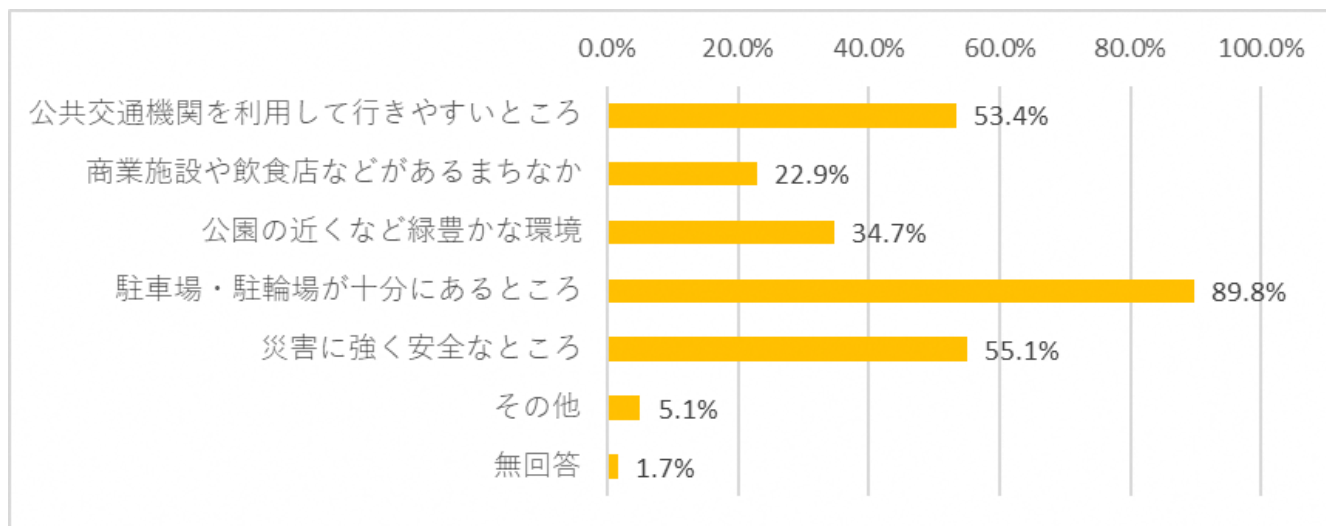
- ・大小のホール。 ・多目的ホール。 ・控室（5）。 ・広い楽屋と楽屋内にシャワーとトイレ。 ・ライブ配信などができる通信環境。 ・富裕層向けのVIP席、ルームの設置。 ・気兼ねなく鑑賞できるファミリースペース。 ・子連れでも見やすい専用部屋（モニターあり）。 ・演者と観客が一緒にならないトイレ。 ・車椅子トイレの設置。 ・スロープの設置。
- ・福知山の高校は吹奏楽が熱心なので、それに特化してアピールしてはどうか。

新文化ホールに期待することや要望など

④規模・機能・立地環境

- 立地環境では、「駐輪場・駐車場が十分にあるところ」が9割近い結果となった。その他の自由回答では幅広い意見がみられたが、一貫して立地に合ったアクセス手段の確保等が求められています。

■立地環境（複数回答可） N=118



※その他の回答は次のページに掲載

新文化ホールに期待することや要望など

④規模・機能・立地環境

■立地環境（複数回答可）N=118

≪その他の回答≫

【現地】

- ・現在地に建て替えなら、隣地を買うか借りるかしないといけない。

【三段池公園】

- ・駐車場を優先するなら三段池公園でいいのではないか。

【長田野公園】

- ・今の厚生会館の場所で立てかえは反対。長田野がある。郊外型の広い駐車場を備えた施設を望む。

【その他】

- ・今の位置にこだわる必要性は全くない。
- ・駅から少し離れている場合、臨時バスなど公共交通機関で対応する。綾部のホールのような感じ。
- ・遠方から来られる方もわかりやすい場所。
- ・緊急時に救急車やパトカーが来れる場所・広さ。
- ・広い敷地で駐車スペースが十分にあること。
- ・周辺に何もなくても、大きな施設があるといずれコンビニや飲食店などができる。活性化させてほしい。
- ・文化事業団等の専門部署。

2. 基礎調査の補填

(3) 市民交流プラザの開館と活動状況の変化

市民交流プラザの基本情報

- 1階、2階に図書館やカフェスペースを併設し、3階には、仮設ステージを設置できる平土間スペースや天井の高いギャラリー、防音設備のある視聴覚室、スクリーン等を備えた会議室があり、多様な活動に対応しています。4階には中央公民館機能として、工作が可能なアトリエ、調理室、和室、各種会議室を備えています。
- 駅前でアクセスが良く、約100台分の駐車場があり、施設利用者は90分間駐車料金を無料で利用することも可能です。

【市民交流プラザの諸室機能】

室名	床面積	定員等	概要
市民交流スペース	292m ²	144人	可動式の小ステージを備え、文化活動や各種イベントなど多様な用途で使用可能（ピアノあり）
ギャラリー	107m ²	—	市民の多彩な創作活動の作品展示が可能
視聴覚室	107m ²	48人	防音設備（完全防音ではない）音響設備を設置
会議室3 - 1	38m ²	18人	少人数収容の会議室
会議室3 - 2	70m ²	45人	スクリーン等を備えた研修・会議室 会議3 - 3と連結時は約80人収容
会議室3 - 3	60m ²	36人	スクリーン等を備えた研修・会議室 会議3 - 2と連結時は約80人収容

【中央公民館部分の諸室機能】

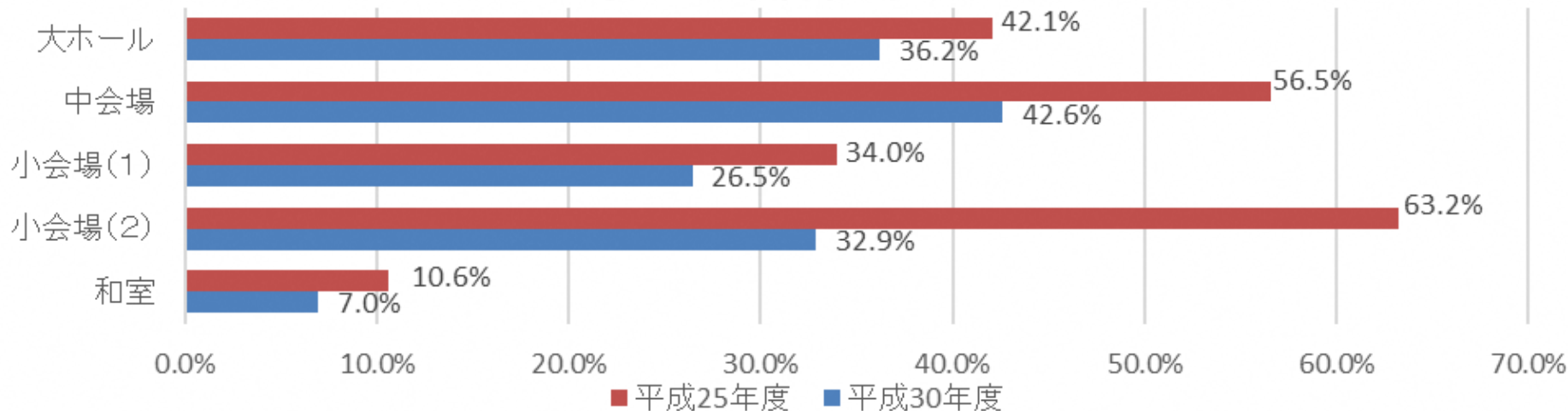
室名	床面積	定員等	概要
アトリエ	121m ²	36人	工芸など様々な創作活動ができる多目的利用スペース
会議室4 - 1	88m ²	54人	防音設備（完全防音ではない）を備え、音楽活動にも利用が可能（ピアノあり）
会議室4 - 2	55m ²	27人	防音（完全防音ではない）設備を備えた少人数収容の研修室
けやきの間（和室）	16畳	18人	茶道、華道など多様な利用が可能な和室
うぐいすの間（和室）	12畳	12人	
クッキングルーム	72m ²	24人	調理実習が可能（調理装置はIH仕様）

交流プラザ開館前後の厚生会館の利用状況

市民交流プラザの開館による市内の活動の影響を調査するため、厚生会館の平成25年度、平成30年度の利用状況調査を行いました。

■稼働率（日）

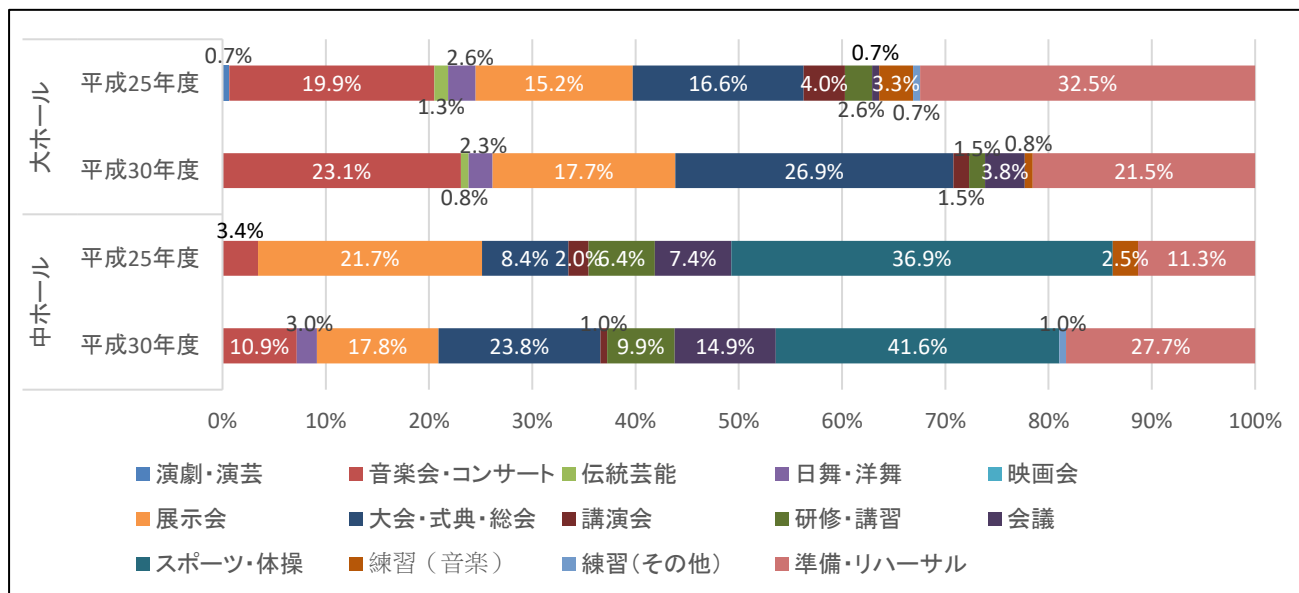
厚生会館稼働率（日）



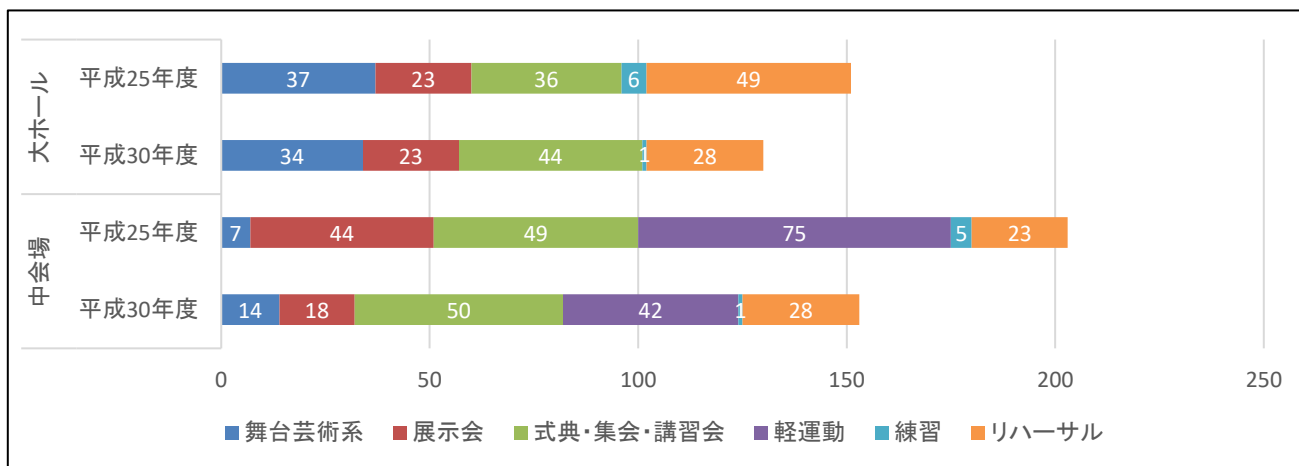
市民交流プラザの開館後、厚生会館ではすべての諸室において稼働率が減少しています。特に、小会場（2）では、ほぼ半分ほどに減少しています。

交流プラザ開館前後の厚生会館の利用状況（大ホール・中会場）

■利用ジャンル



■利用件数

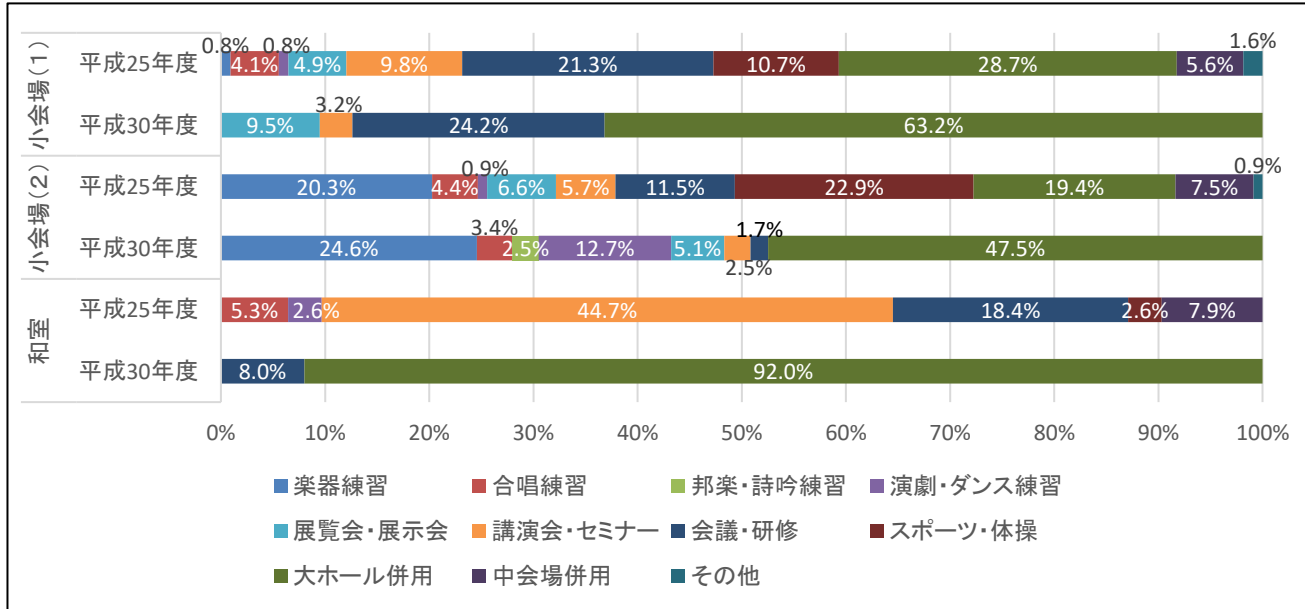


大ホール以外の諸室では利用ジャンルの傾向に変化がみられます。

中会場では、利用の多かった軽運動や展示の利用が減少しています。

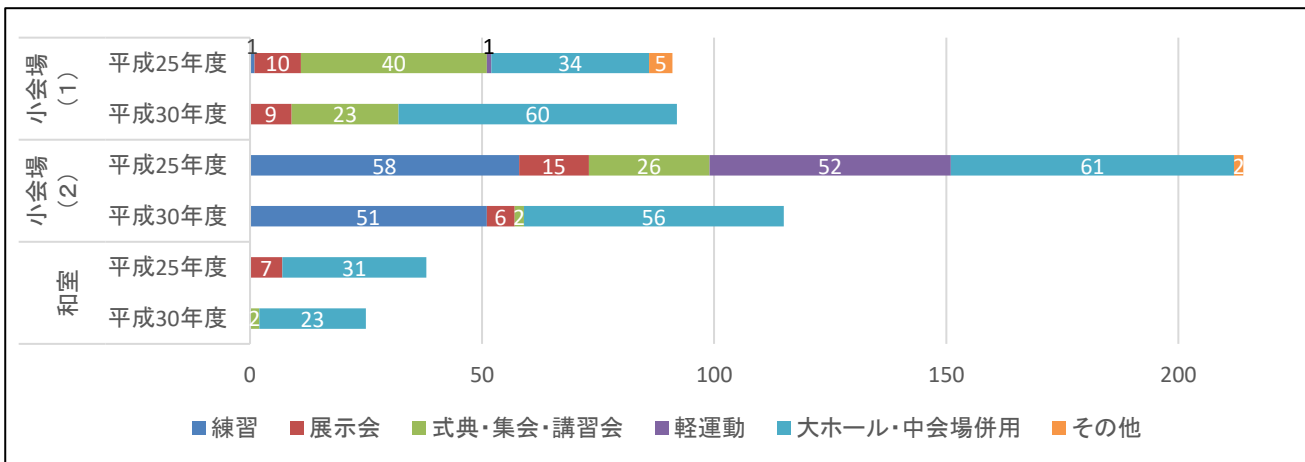
交流プラザ開館前後の厚生会館の利用状況（その他諸室）

■ 利用ジャンル・利用件数



小会場では、各種練習活動やスポーツ・体操の利用が減少しています。

■ 利用件数

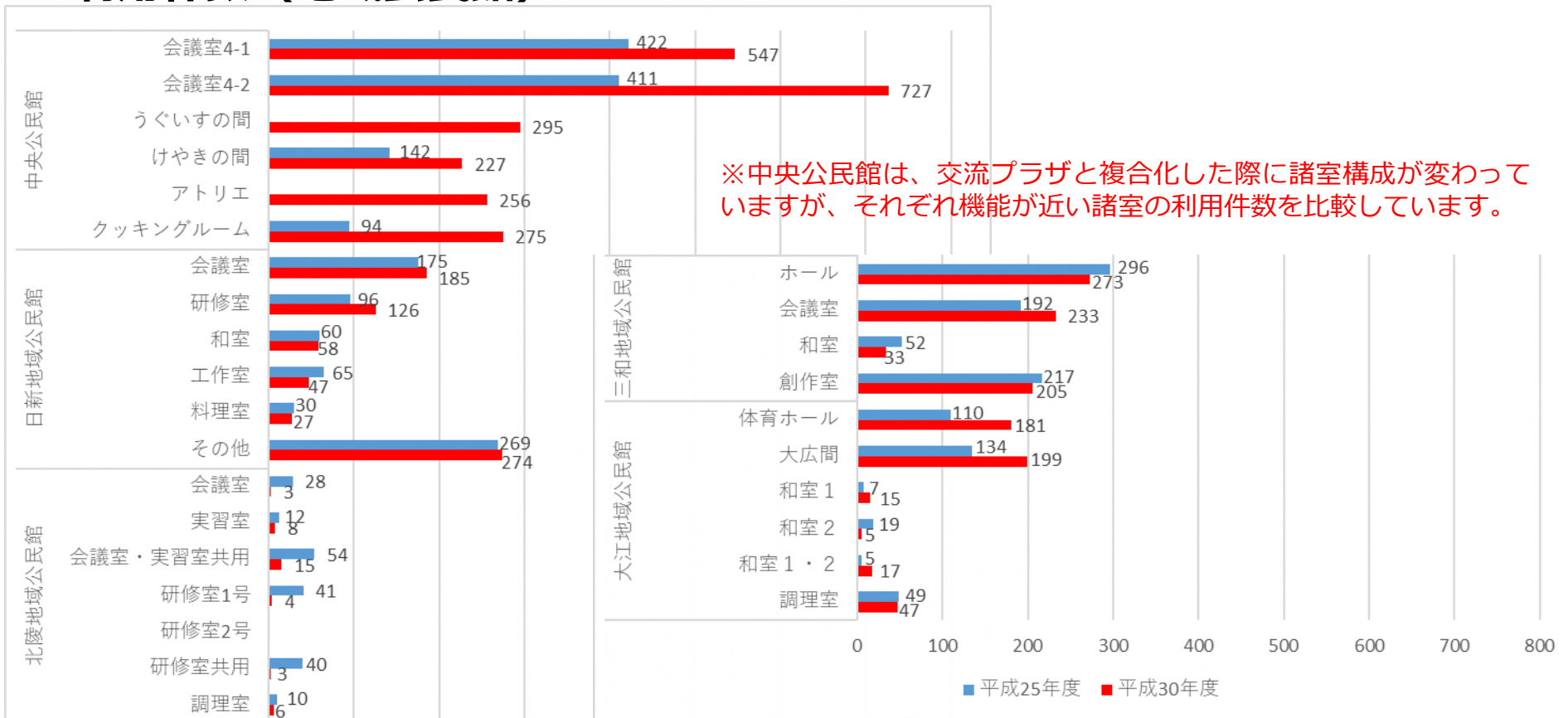


市民交流プラザの開館により、厚生会館を利用していた活動の一部が、市民交流プラザへ移行していることが推察されます。

交流プラザ開館前後の地域公民館の利用件数

市民交流プラザ開館前の平成25年度、開館後の平成30年度の利用件数について、地域公民館の利用状況を比較しました。

■利用件数（地域公民館）

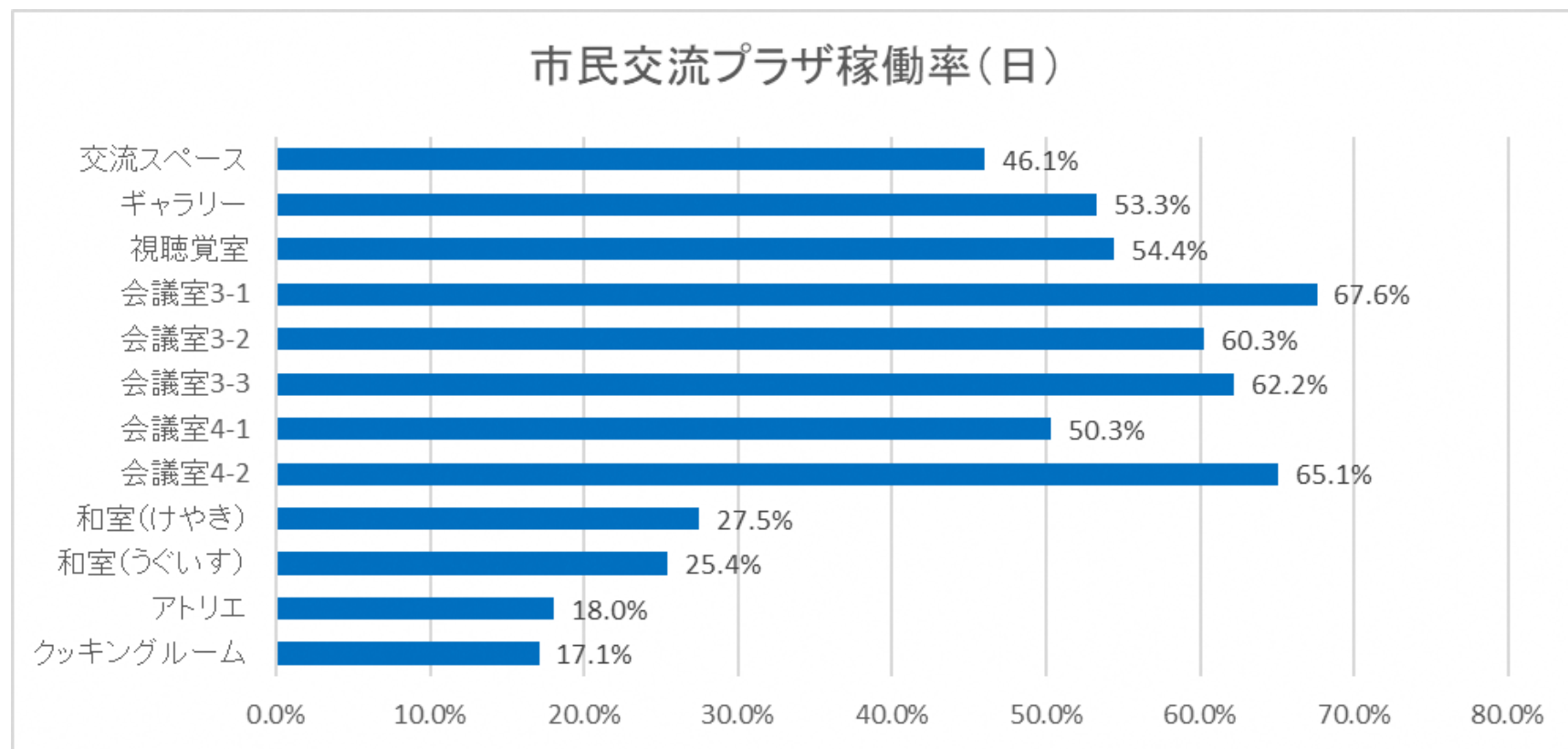


中央公民館は、市民交流プラザとして再編された後、大幅に利用が増加しています。一方で、その他の地域公民館は、市民交流プラザ開館前後での変化が見られないことから、市民交流プラザ開館による影響をあまり受けていないことが推察されます。

市民交流プラザの利用状況

市民交流プラザは令和元年度の利用状況を調査しました。

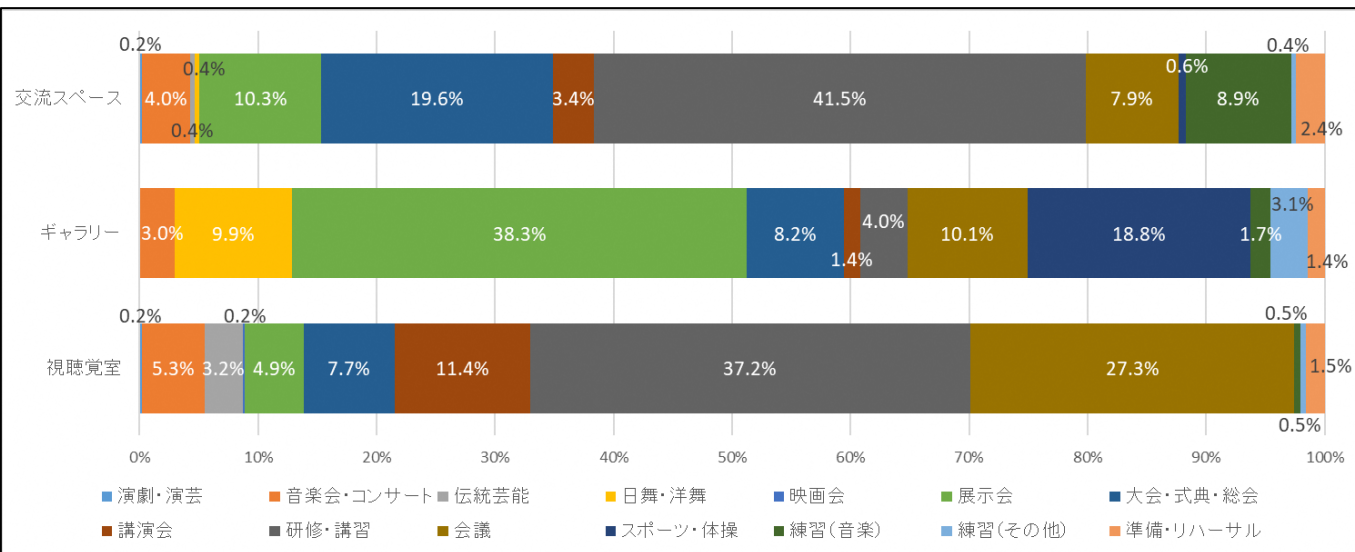
■稼働率



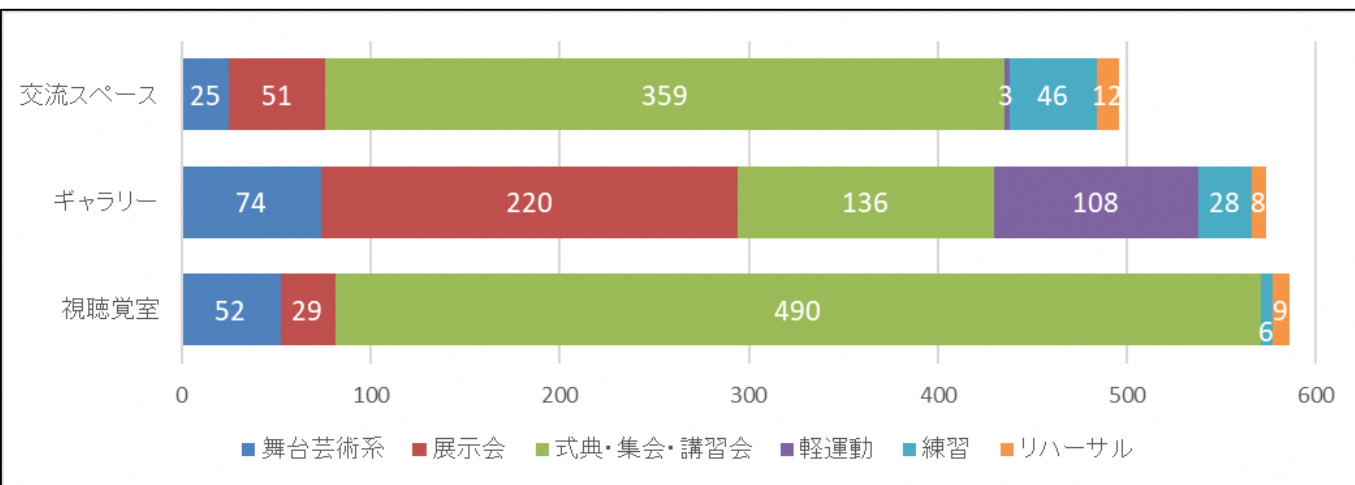
市民交流プラザの稼働率は全体として高く、厚生会館の減少分を大きく上回っており、新たな活動が創出されていることが推察されます。

交流プラザの利用状況

■利用ジャンル（市民交流スペース、ギャラリー、視聴覚室）



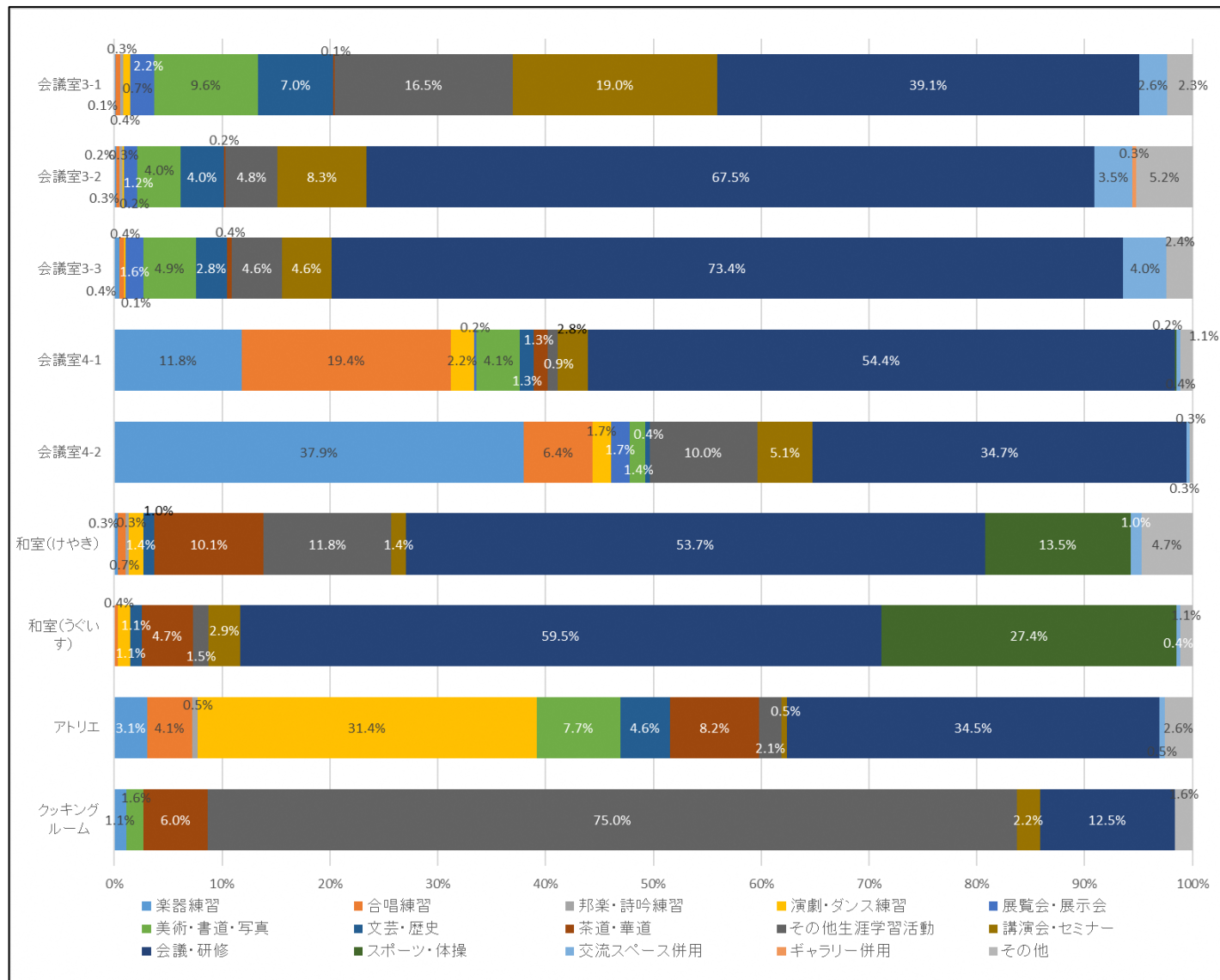
■利用件数（市民交流スペース、ギャラリー、視聴覚室）



展示会、楽器・合唱・ダンス等の練習や様々な生涯学習の活動、各種会議等で、市民交流プラザ開館後にこうした活動が活発化もしくは新たに生まれた可能性が考えられます。

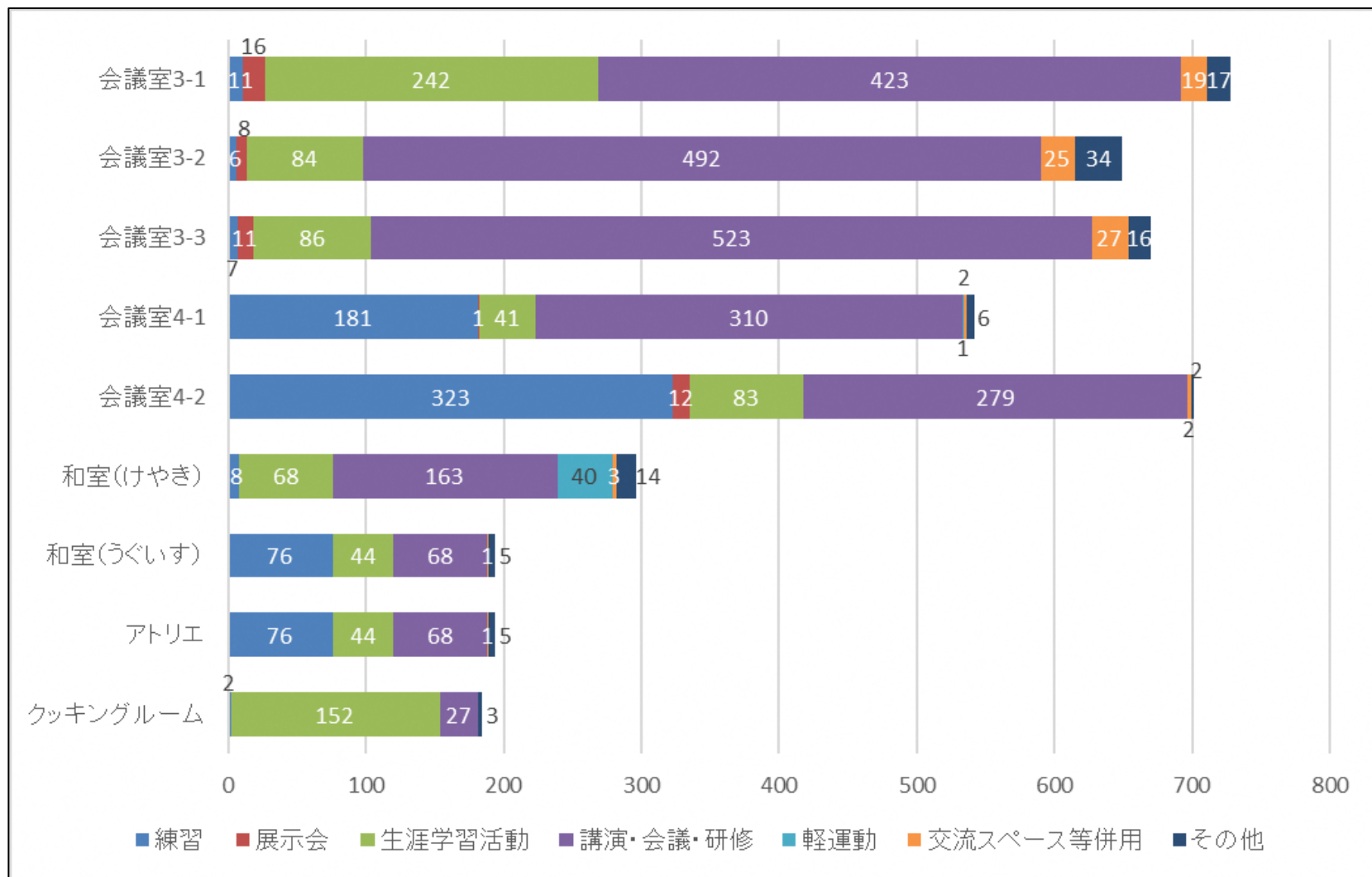
交流プラザの利用状況

■ 利用ジャンル（その他諸室）



交流プラザの利用状況

■ 利用件数（その他諸室）



今後の活動に求められること

平成26年市民交流プラザ開館後、施設の利用状況から、市内の文化活動は活発化していることが明らかになりました。ヒアリングやワークショップでは、市民交流プラザは立地が良く、福知山市文化協会加盟団体は減免により冷暖房費以外は無料で利用できること、必要な施設備品を備え、活動に適した規模の部屋が多いことから、市民の日常活動において使いやすい施設であるという意見が多数あげられました。

しかし、市民交流プラザは部屋によっては利用者が集中し予約が取りづらいため、特に音楽やダンスの練習活動の場が不足している状況にあります。

今後、市内の文化活動を活性化していくためには、こうした市民のための練習の場や様々な生涯学習活動の場の整備が求められています。

3. 新文化ホール基本構想（案） （別紙参照）

福知山市新文化ホール基本構想（案） 目次

第1章 基本構想策定の背景

- 1 はじめに
- 2 基本構想策定の経緯

第2章 新文化ホールを取り巻く状況

- 1 文化芸術関連政策・計画
 - (1)国の文化政策の状況
 - (2)京都府の文化政策の状況
 - (3)福知山市の文化政策の状況
 - (4)ポスト「新型コロナウイルス時代」における劇場施設の新たな考え方
- 2 厚生会館の現状と課題
 - (1)厚生会館の現状
 - (2)利用状況
 - (3)施設の課題
- 3 福知山市の文化的環境
 - (1)福知山市内および周辺市町の文化交流施設
 - (2)福知山市内における文化活動等の状況
- 4 市民意見の整理

第3章 基本理念

- 1 調査結果の整理と新文化ホールの方向性
- 2 新文化ホールの基本的な考え方
 - (1)基本理念
 - (2)基本的な役割

第4章 新文化ホールの整備方針

- 1 新文化ホールの整備方針
 - (1)施設の機能
 - (2)施設の規模

- (3)施設整備における配慮事項
- (4)建設地
- (5)整備手法

第5章 管理運営の考え方

- 1 管理運営に関する考え方
 - (1)管理運営の基本的な考え方
 - (2)運営主体の考え方

資料編

- 1 福知山市新文化ホール基本構想策定経過
 - (1)福知山市新文化ホール整備基本構想・基本計画検討委員会
 - (2)福知山市新文化ホール整備基本構想・基本計画検討委員会委員名簿
- 2 文化関連団体ヒアリング結果概要
 - (1)実施概要
 - (2)市内団体の活動場所（公演・発表利用）
 - (3)市内団体の活動場所（日常利用）
 - (4)現厚生会館について
 - (5)新施設に望むことについて
- 3 市民ワークショップの概要（第1回・第2回）
 - (1)実施概要
 - (2)参加者の意見・アイデアなど
- 4 Webアンケート結果概要
 - (1)実施概要
 - (2)回答者属性
 - (3)鑑賞について
 - (4)文化芸術活動について
 - (5)厚生会館について
 - (6)新文化ホールに期待することや要望など